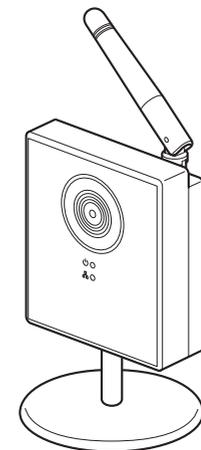
Network Camera

30万画素ネットワークカメラ

LAN-NCW150/S

User's Manual

このマニュアルは、別紙「セットアップガイド」と
あわせてお読みください。

●このマニュアルで使われている用語

このマニュアルでは、一部の表記を除いて以下の用語を使用しています。

用 語	意 味
本製品 カメラ	30万画素ネットワークカメラ「LAN-NCW150/S」を称して「本製品」または「カメラ」と表記しています。
11n/11g/11b	IEEE802.11n規格を「11n」、IEEE802.11g規格を「11g」、IEEE802.11b規格を「11b」と省略して表記している場合があります。
無線ルータ	無線LANブロードバンドルータを略して「無線ルータ」と表記しています。
無線AP	「無線LANアクセスポイント」のことを略して「無線AP」と表記しています。
無線親機	無線ルータ、無線APを総称して「無線親機」と表記しています。

●このマニュアルで使われている記号

記 号	意 味
注 意	作業上および操作上で特に注意していただきたいことを説明しています。この注意事項を守らないと、けがや故障、火災などの原因になることがあります。注意してください。
	説明の補足事項や知っておくと便利なことを説明しています。

ご注意

●本製品の仕様および価格は、製品の改良等により予告なしに変更する場合があります。
●本製品に付随するドライバ、ソフトウェア等を逆アセンブル、逆コンパイルまたはその他リバースエンジニアリングすること、弊社に無断でホームページ、FTPサイトに登録するなどの行為を禁止させていただきます。
●このマニュアルの著作権は、ロジテック株式会社が所有しています。
●このマニュアルの内容の一部または全部を無断で複製/転載することを禁止させていただきます。
●このマニュアルの内容に関しては、製品の改良のため予告なしに変更する場合があります。
●このマニュアルの内容に関しては、万全を期しておりますが、万一ご不審な点がございましたら、弊社テクニカル・サポートまでご連絡ください。
●本製品の日本国外での使用は禁じられています。ご利用いただけません。日本国外での使用による結果について弊社は、一切の責任を負いません。また本製品について海外での(海外からの)保守、サポートは行っておりません。
●本製品を使用した結果によるお客様のデータの消失、破損など他への影響につきましては、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。重要なデータについてはあらかじめバックアップするようにお願いいたします。
●Microsoft、Windows Vista、Windowsは米国Microsoft Corporationの登録商標です。そのほか、このマニュアルに掲載されている商品名/社名などは、一般に各社の商標ならびに登録商標です。本文中における®およびTMは省略させていただきました。

30万画素ネットワークカメラ

LAN-NCW150/S

User's Manual
ユーザーズマニュアル

はじめに

この度は、ロジテックのネットワーク製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。このマニュアルにはネットワークカメラ"LAN-NCW150/S"を使用するにあたっての手順や設定方法が説明されています。また、お客様が本製品を安全に扱っていただくための注意事項が記載されています。導入作業を始める前に、必ずこのマニュアルをお読みになり、安全に導入作業をおこなって製品を使用するようにしてください。
カメラの基本的な使い方については、カメラに添付の「かんたんセットアップガイド」をお読みください。

このマニュアルは、製品の導入後も大切に保管しておいてください。

もくじ

安全にお使いいただくために

けがや故障、火災などを防ぐために、ここで説明している注意事項を必ずお読みください。

警　告	この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などによる死亡や大けがなど人身事故の原因になります。
注　意	この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり、他の機器に損害を与えたりすることがあります。

本製品の分解、改造、修理をご自分でおこなわないでください。
火災や感電、故障の原因になります。また、故障時の保証の対象外となります。

本製品から発煙や異臭がしたときは、直ちに使用を中止したうえで電源を切り、ACコンセントから電源プラグを抜いてください。そのあと、ご購入店もしくは当社テクニカル・サポートまでご連絡ください。
そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因になります。

本製品に水などの液体や異物が入った場合は、直ちに使用を中止したうえで電源を切り、ACコンセントから電源プラグを抜いてください。そのあと、ご購入店もしくは当社テクニカル・サポートまでご連絡ください。
そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因になります。

本製品を、水を使う場所や湿気の多いところで使用しないでください。
火災や感電、故障の原因になります。

注　意

本製品を次のようなところで使用しないでください。
・高温または多湿なところ、結露を起こすようなところ
・直射日光のあたるところ
・平坦でないところ、土台が安定していないところ、振動の発生するところ
・静電気の発生するところ、火気の周辺

長期間本製品を使用しないときは、電源プラグを抜いておいてください。
故障の原因になります。

無線LANをご使用になるにあたってのご注意

●無線LANは無線によりデータを送受信するため盗聴や不正なアクセスを受ける恐れがあります。無線LANをご使用になるにあたってはその危険性を十分に理解したうえ、データの安全を確保するためセキュリティ設定をおこなってください。また、個人データなどの重要な情報は有線LANを使うこともセキュリティ対策として重要な手段です。

●本製品は電波法に基づき、特定無線設備の認証を受けておりますので免許を申請する必要はありません。ただし、以下のことは絶対におこなわないようにお願いします。

・本製品を分解したり、改造すること
・本製品の背面に貼り付けてある認証ラベルをはがしたり、改ざん等の行為をすること
・本製品を日本国外で使用すること

これらのことに違反しますと法律により罰せられることがあります。

●心臓ペースメーカーを使用している人の近く、医療機器の近くなどで本製品を含む無線LANシステムをご使用にならないでください。心臓ペースメーカーや医療機器に影響を与え、最悪の場合、生命に危険を及ぼす恐れがあります。

●電子レンジの近くで本製品を使用すると無線LANの通信に影響を及ぼすことがあります。

Chapter 1

概 要 編

1 製品の保証について

製品の保証とサービス

本製品には保証書が付いています。内容をお確かめの上、大切に保管してください。

●保証期間

保証期間はお買い上げの日より1年間です。保証期間を過ぎての修理は有料になります。詳細については保証書をご覧ください。保証期間中のサービスについてのご相談は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

●保証範囲

次のような場合は、弊社は保証の責任を負いかねますのでご注意ください。

- 弊社の責任によらない製品の破損、または改造による故障
- 本製品をお使いになって生じたデータの消失、または破損
- 本製品をお使いになって生じたいかなる結果および、直接的、間接的なシステム、機器およびその他の異常

詳しい保証規定につきましては、保証書に記載された保証規定をお確かめください。

●その他のご質問などに関して

P9「2. サポートサービスについて」をお読みください。

2 サポートサービスについて

よくあるお問い合わせ、対応情報、マニュアル、修理依頼書、付属品購入窓口などをインターネットでご案内しております。ご利用が可能であれば、まずご確認ください。

サポートページ　6409.jp　（http://は必要ありません）

ロジテック・テクニカルサポート（ナビダイヤル）
TEL：0570-050-060
受付時間：月曜日～土曜日 10:00～19:00
（祝日営業）※ただし、夏期、年末年始の特定休業日は除きます。

本製品は、日本国内仕様です。国外での使用に関しては弊社ではいかなる責任も負いかねます。
また国外での使用、国外からの問合せにはサポートを行なっておりません。
This product is for domestic use only. No technical support is available in foreign languages other than Japanese.

テクニカルサポートにお電話される前に

お問合せの前に以下の内容をご用意ください。

- 弊社製品の型番
- インターネットに関するプロバイダ契約の書類
- ご質問内容（症状、やりたいこと、お困りのこと）

※可能な限り、電話しながら操作可能な状態でご連絡ください。

設定ポータルサイトでも、
本製品の設定について詳細な手順を確認できます。
「えれさぽ」で検索してください。

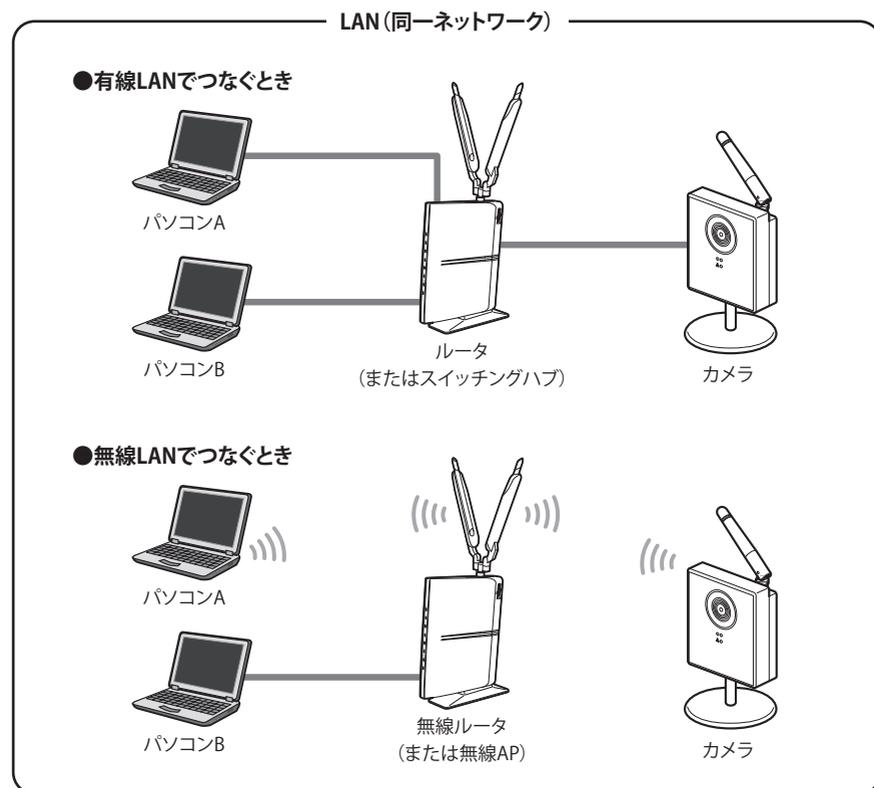
3 本製品の概要について

カメラを使ってできること

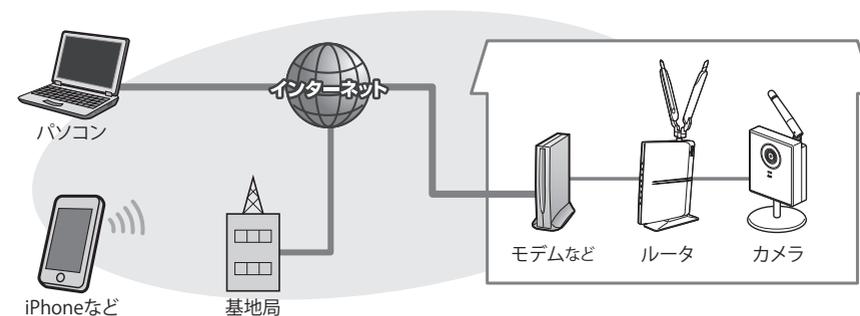
本製品はネットワークに対応したカメラです。LAN上のパソコンからカメラの映像を閲覧したり、インターネット経由で外部からカメラの映像を閲覧することができます。

A：LAN上でカメラを利用する

LANを使って同一ネットワーク上にあるパソコンなどから、カメラからの映像を見ることができます。無線ルータをご使用の場合は、カメラ～無線ルータ間を無線LAN/有線LANいずれの方法でもつなぐことができます。

※ルータを利用するなど、導入時はDHCPサーバ機能が有効な環境が必要です。

B：ブロードバンドルータを経由してインターネットにカメラの映像を公開する

弊社のダイナミックDNSサービス「クリアネット」などを利用することで、パソコンやiPhone/Androidなどのスマートフォンから、インターネット経由でカメラの映像を見ることができます。

※「クリアネット」をご利用になるには、弊社製ルータが必要です。

ダイナミックDNSとは

インターネットは、一般的に固定IPサービスを契約していない場合、再接続のタイミングやプロバイダ側の設定の関係で、グローバルIPアドレスが変動します。そのためネットワークカメラなどを設定しても、常に同じグローバルIPアドレスで接続することができません。ダイナミックDNS（Dynamic Domain Name System）は、グローバルIPアドレスが変化しても、自動的に結びつけることができるサービスです。このサービスを利用することで、自宅Webサーバの公開やネットワークカメラへのアクセスなどが簡単に行えるようになります。

インターネット経由でカメラの映像を閲覧する場合のご注意

パソコンやスマートフォンなどでインターネットに接続すると、利用したパケット量に応じた利用料金が発生する場合があります。カメラからの映像を受信するには、大量のパケットを使用します。インターネット経由でカメラにアクセスする場合は、ご契約のサービス内容を事前にご確認のうえ、ご利用ください。

Macおよびスマートフォンでのご使用について

DDNSに関する設定などインターネット経由で映像を閲覧する場合は、カメラの設定にWindows環境が必要になります。設定後はMacやスマートフォンなどからWebブラウザや専用アプリを使って映像を見ることができます。Webブラウザから映像を見る手順は、Windowsと同じです。対応ブラウザはP13「カメラの対応OSと対応ブラウザ」をお読みください。

カメラの特長

●高解像度での表示が可能なネットワークカメラ

30万画素CMOSセンサーを採用しています。最大1280ドット×960ラインの高解像度で映像を撮影することができるネットワークカメラです。

●無線LAN機能を搭載し、最大150Mbpsの高速伝送で映像を送信可能

IEEE802.11n/g/bに対応し、無線LANを使って、最大150Mbps（理論値）で映像を送信することができます。LANケーブルを用意する必要がなく、ACコンセントが近くにあれば、どこにでもカメラを設定することができます。

※カメラは屋内専用です。

●専用アプリを使ってスマートフォンからWi-Fi接続で映像を閲覧可能

パソコンはもちろん、iPhoneやAndroid端末といったスマートフォンでも、Wi-Fi接続で映像を閲覧できます。無料の専用アプリをダウンロードしていただくことで、Wi-Fi接続されたスマートフォンの操作だけで、簡単にカメラへアクセスすることができます。

●インターネット経由での映像の閲覧が可能

iPhoneやAndroid端末、パソコンからインターネット経由で映像を閲覧することができます。最初に必要な設定を済ませれば、2回目以降は、簡単に映像にアクセスすることができます。

ご注意：設定にはカメラに接続できるパソコンおよびDDNS設定が可能なルータが必要です。

●DDNSサービス「クリアネット」を無料でご利用可能

インターネット経由で映像を閲覧する場合、DDNSサービスの利用が必要になります。弊社製ルータをご使用の場合は、DDNSサービス「クリアネット」を無料でご利用いただけます。

※「クリアネット」を無料でご利用いただける期間は2017年5月31日までです。また、対象製品から「クリアネット」へのアクセスが1年間ない場合は自動的にユーザー登録が削除されます。詳しくはhttp://www.logitec.co.jp/products/ddns.html「ご利用料金および期間について」をご参照ください。

※他社製ルータをご使用の場合は、他のDDNSサービスをご利用いただくことでインターネット経由による映像の閲覧が可能です。

●有線LANポートも装備

無線LANだけでなく、有線LANでも接続できます。有線LANでカメラの映像を送信できるほか、カメラの詳細な設定を有線LAN経由で安心して行うことができます。

●動態検知機能を装備、メールでの通知も可能

撮影中の映像の一部に変化があった場合に、撮影した静止画を添付したメールを自動送信することができます。

カメラの対応OSと対応ブラウザ

カメラを設定するためのパソコンの対応OSおよび対応ブラウザは以下のとおりです。

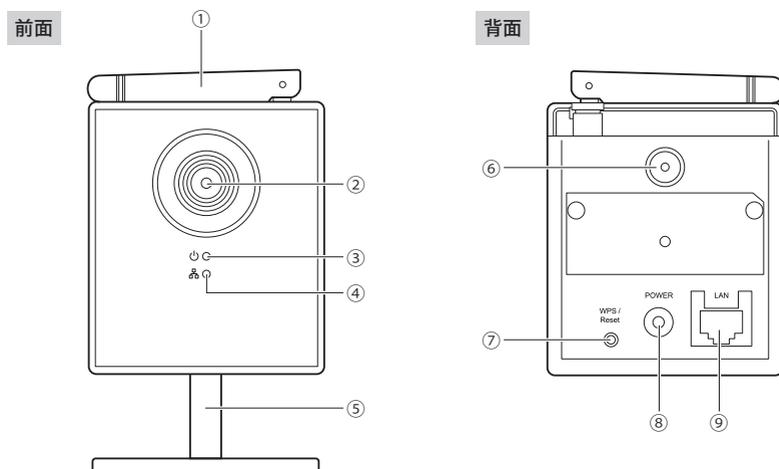
設定用パソコンの対応OS	Windows 7（64/32bit）/Vista（32bit：SP2）/XP（32bit：SP3）を搭載するWindowsマシン
対応ブラウザ（Web設定ユーティリティ）	Internet Explorer 7.0以降、Chrome、Safari、Firefox ※Web上で操作するためのソフトウェアは、Internet Explorerにのみ対応します。 ※スマートフォンでカメラの映像を見るには、専用アプリを使用します。

注 意

導入時はDHCPサーバ機能が利用できる環境が必要です

カメラは初期値では、DHCPサーバよりIPアドレスを自動取得するように設定されています。そのため、導入時は、カメラを接続するネットワークにDHCPサーバ環境が必要です。DHCPサーバ機能が利用できる環境にカメラを接続し、カメラのユーティリティを使って固定IPアドレスに変更することで、DHCPサーバがない環境でもカメラを使用できるようになります。カメラを固定IPアドレスに変更する方法については、P41「カメラのIPアドレスを設定する」をお読みください。

4 各部の名称とはたらき

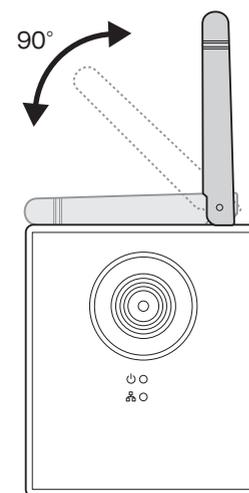
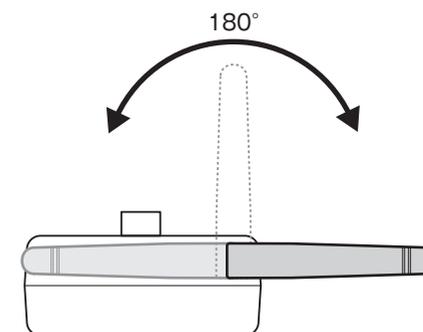
各部の名称とはたらき

番号	名称	はたらき
①	外部アンテナ	電波をより強く、安定して送受信するためのアンテナです。電波の感度を上げるために角度を変えて調整できます。可動範囲については、P15「アンテナの角度調整」をご参照ください。
②	レンズ	映像を撮影する部分です。指先で触れないように注意してください。レンズが汚れた場合は、乾いたやわらかい布でレンズをやさしく拭いてください。
③	電源ランプ（青色）	点灯：カメラの電源が入っています。 消灯：カメラの電源が入っていません。
④	ネットワークランプ（黄色）	点灯：ネットワーク機器とのリンク（接続）が確立されています。 点滅：データを通信しています。WPS機能を使用しているときは1秒間隔で約1分間、点滅します。 消灯：ネットワーク機器とのリンク（接続）が確立されていません。
⑤	スタンド	付属のスタンドです。出荷時は本体と別になっています。スタンドを使用する場合は、カメラの背面にある「カメラ本体固定穴」にしっかりと差し込んで固定してください。スタンドの組み立てと固定については、P16「付属のスタンドについて」をお読みください。
⑥	カメラ本体固定穴	付属のスタンドを取り付けます。しっかりとスタンドを固定してください。

番号	名称	はたらき
⑦	WPS/Resetボタン	■WPS機能を使う場合 約1秒間押し続けるとWPS機能が有効になり、ネットワークランプ（黄色）が点滅します。 ■カメラをリセットする場合 10秒以上押し続けて、電源ランプ（青色）が点滅したらボタンを離します。カメラの設定が工場出荷時の状態へリセットされます。
⑧	DCジャック	付属のACアダプタを接続します。カメラに付属以外のACアダプタを使用しないでください。
⑨	LANポート	カメラをネットワーク（有線LAN）に接続して使用するためのポートです。100BASE-TXおよび10BASE-Tに対応しています。カメラはAUTO-MDI/MDI-Xに対応しています。

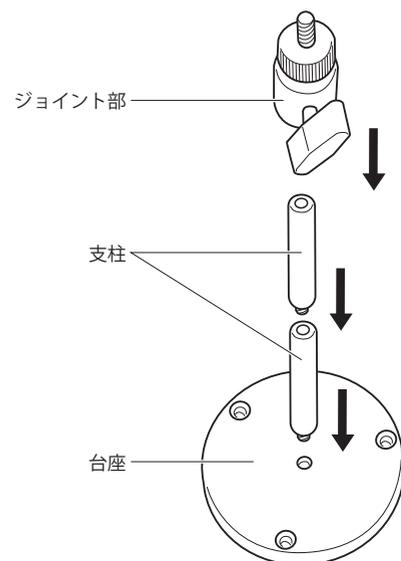
アンテナの角度調整

カメラのアンテナは、垂直方向に90°、水平方向に180°の範囲で可動します。可動範囲を超えた角度調整は、アンテナの破損につながりますので、ご注意ください。

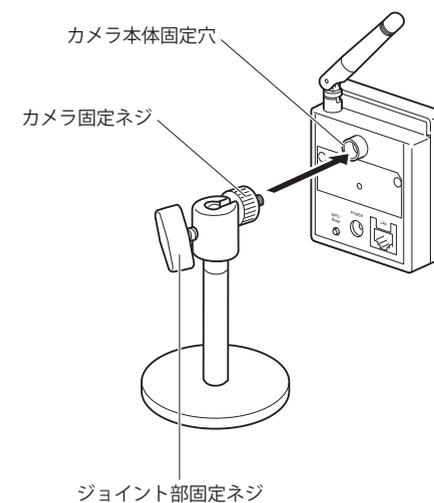
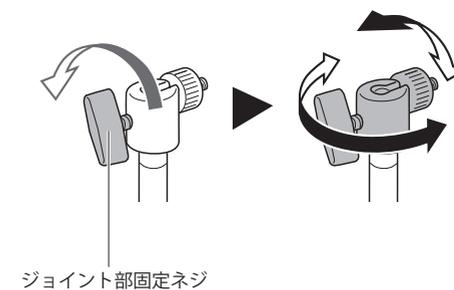
●垂直方向

90°

●水平方向（上から見た場合）

付属のスタンドについて

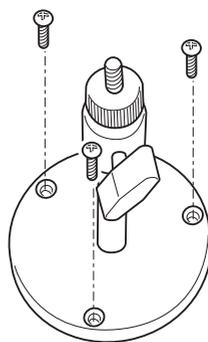
スタンドの組み立て

ジョイント部、支柱、台座をそれぞれ接続します。
支柱は2本付属しています。環境にあわせて、ご使用ください。

カメラとスタンドの固定

❶ カメラの「カメラ本体固定穴」にジョイント部のネジを締め込みます。

❷ 水平角を調整したら、カメラ固定ネジを回して、しっかりと固定します。

● ジョイント部固定ネジをゆるめると、上下角の調整および左右の角度調整ができます。調整後にジョイント部固定ネジを締めます。

スタンドの固定

●スタンドの台座には、ビス穴が3か所あります。スタンドを固定する場合に使用します。なお、カメラには、台座固定用にネジ3本が付属しています。

●固定場所が付属のネジでは適さない場合は、固定場所の状態にあわせて、台座を固定してください。

注 意

スタンドの重さは支柱を2本使用した場合に約120gあります。カメラ本体の重さは約80gあります。接続するケーブル類の重みを含め、耐荷重を十分考慮してスタンドを固定してください。

Chapter 2

導 入 編

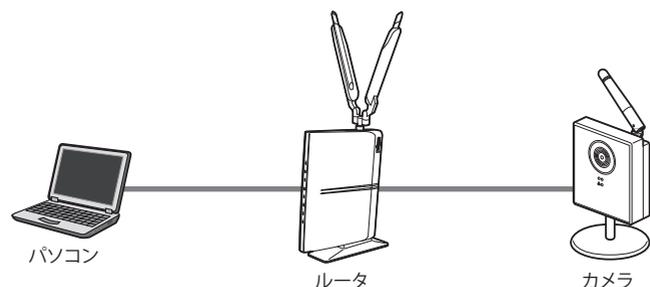
1 カメラをつなぐ

カメラを使用できるようにネットワークに接続します。

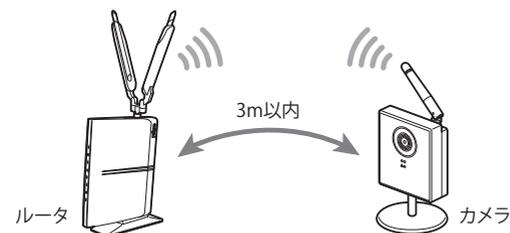
接続を始める前に

●導入時はDHCPサーバ機能が利用できる環境が必要です
カメラは初期値では、DHCPサーバよりIPアドレスを自動取得するように設定されています。そのため、導入時は、カメラを接続するネットワークにDHCPサーバ環境が必要です。DHCPサーバ機能が利用できる環境にカメラを接続し、カメラのユーティリティを使って固定IPアドレスに変更することで、DHCPサーバがない環境でもカメラを使用できるようになります。カメラを固定IPアドレスに変更する方法については、P41「カメラのIPアドレスを設定する」をお読みください。

●インターネット経由で映像を閲覧するにはWindowsパソコンが必要です
設定にはWindowsパソコンが必要になります。カメラを接続したネットワークに接続できるWindowsパソコンをご用意ください。

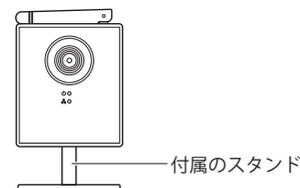
接続例

すべての設定が終わり、カメラの映像にアクセスできることが確認できれば、Windowsパソコンがなくても利用できるようになります。

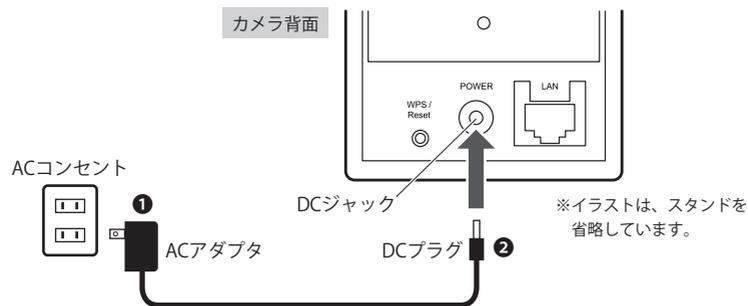
カメラを無線LANでつなぐ

ここではカメラと無線親機（無線ルータまたは無線AP）を、WPS機能を使って無線LANでつなぐ方法を説明します。

無線親機がWPS機能を持たない場合
パソコンよりカメラのWebブラウザ版設定ユーティリティに接続し、無線ルータ/無線APの無線LAN設定の内容を手動でカメラに設定します。設定方法については、P103「無線ルータ側にWPS機能がない場合」をお読みください。

1 カメラを無線LANでつなぐ前に、無線親機などの機器の電源をオンにします。

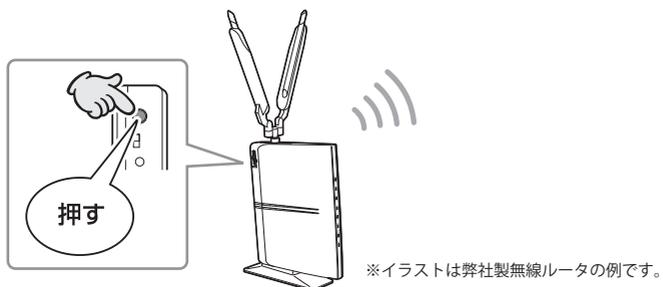
注意
カメラの初期値では、DHCPサーバ機能が有効になっています。そのためルータなどの無線親機をあらかじめ起動しておき、無線親機のDHCPサーバ機能が動作している状態にする必要があります。
有線ルータ＋無線APでご使用の場合は、両方の電源をオンにしてください。

2 付属のスタンドなどをカメラに取り付けて固定しておきます。

• 付属のスタンドの取り付け方法は、P16「付属のスタンドについて」をお読みください。

3 **カメラと付属のACアダプタをつなぎます。**

❶ ACアダプタ本体をACコンセントに差し込みます。

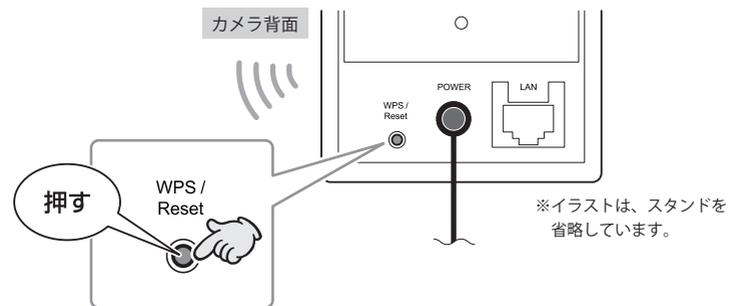
先にACアダプタ本体をACコンセントに差し込んでください。

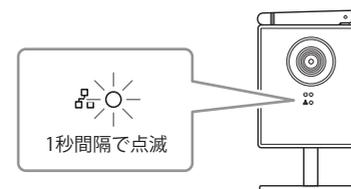
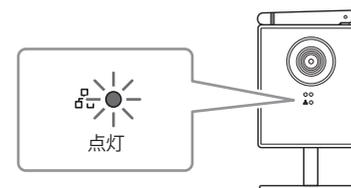
❷ ACアダプタのプラグをカメラのDCジャックに差し込みます。

4 **無線親機側のWPSボタンを押します。**

- 無線親機側のWPSボタンの場所およびWPS機能の使用方法については、無線親機のマニュアルをお読みください。
- WPS機能がない無線親機をご使用の場合→P103「無線ルータ側にWPS機能がない場合」へ

5 **無線親機側のWPS機能が有効な間に、カメラの背面にあるWPS/Resetボタンを約1秒間押して離します。**

- 無線親機とカメラの距離を3m以内にした状態で、WPS/Resetボタンを押してください。

注 意

10秒以上、WPS/Resetボタンを押しつづけると、カメラが初期化されますので、ご注意ください。

- カメラのWPS機能が有効になると、前面にあるネットワークランプ（黄色）が1秒間隔で点滅します。

6 **無線親機と正常に接続できると、カメラのネットワークランプ（黄色）が点灯に変わります。**

7 **これで機器の接続は完了です。このあとは、ご使用になる環境に該当するページへ進みます。**

- スマートフォンから映像を閲覧する→P27「スマートフォンからカメラにアクセスする」へ
- パソコン（無線LAN/有線LAN）から映像を閲覧する→P33「パソコンからカメラにアクセスする」へ

カメラを有線LANでつなぐ

ここではカメラを有線LANのネットワークにつなぐ方法を説明します。

無線ルータをご使用の場合

無線ルータをご使用の場合は、カメラ～無線ルータ間を有線LAN/無線LANどちらの方法でもつなぐことができます。カメラを無線LANでつなぐ場合は、P21「カメラを無線LANでつなぐ」をお読みください。

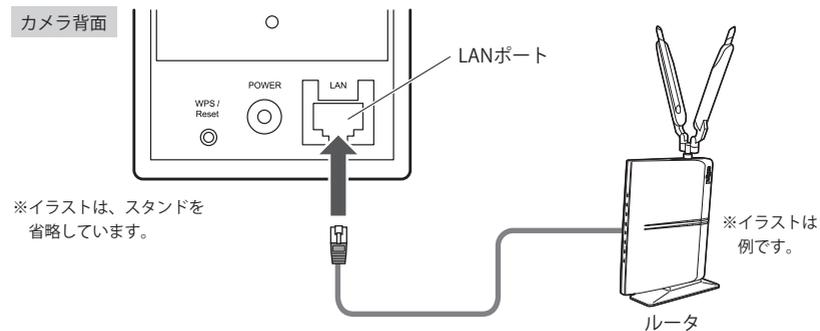
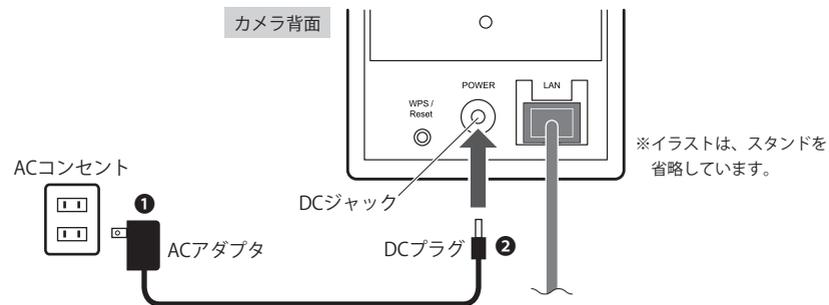
1 **カメラをネットワークにつなぐ前に、ルータの電源をオンにします。**

注意

カメラの初期値では、DHCPサーバ機能が有効になっています。そのためルータなどの無線親機をあらかじめ起動しておき、無線親機のDHCPサーバ機能が動作している状態にする必要があります。

2 **付属のスタンドなどをカメラに取り付けて固定しておきます。**

- 付属のスタンドの取り付け方法は、P16「付属のスタンドについて」をお読みください。

3 **カメラとルータなどのLANポートを、LANケーブルでつなぎます。**

4 **カメラと付属のACアダプタをつなぎます。**

❶ ACアダプタ本体をACコンセントに差し込みます。

注意

先にACアダプタ本体をACコンセントに差し込んでください。

❷ ACアダプタのプラグをカメラのDCジャックに差し込みます。

5 **これで機器の接続は完了です。**

無線ルータをご使用の場合は、スマートフォンおよび無線LAN機能搭載のパソコンから映像を閲覧できます。有線ルータをご使用の場合は、同一ネットワークにつながったパソコンから映像を閲覧できます。ご使用になる環境に該当するページへ進みます。

- スマートフォンから閲覧する→P27「スマートフォンからカメラにアクセスする」へ
- パソコン（無線LAN/有線LAN）から閲覧する→P33「パソコンからカメラにアクセスする」へ

2 LAN上のカメラの映像を見る

LANを使って同一ネットワーク上にある無線ルータや無線APを経由して、スマートフォンやパソコンなどから、カメラからの映像を見ることができます。

スマートフォンからカメラにアクセスする

カメラの映像を同一ネットワーク上にある無線ルータや無線APを経由し、Wi-Fi接続でスマートフォンから閲覧します。専用アプリを使ってカメラにアクセスして映像を確認します。iPhoneなど（iOSモデル）とAndroid端末で手順が異なります。該当するほうをお読みください。

事前にスマートフォンからWi-Fi接続を完了しておいてください
お使いのスマートフォンから、カメラが接続されたネットワークの無線ルータや無線APとWi-Fi接続できるようにしておいてください。設定方法については、ご使用の無線ルータまたは無線APのマニュアルをお読みください。弊社製無線ルータをご使用の場合の接続方法については、P104「スマートフォンからルータにアクセスできない」に簡単な説明があります。

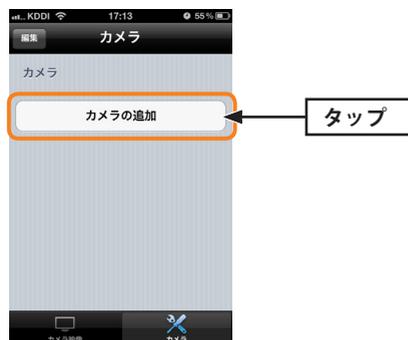
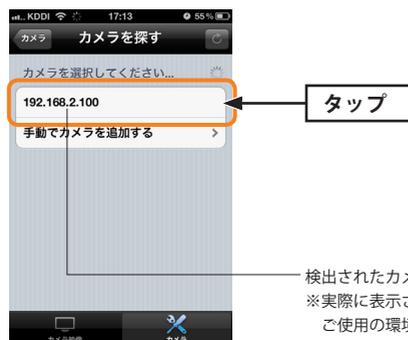
iPhoneなど（iOSモデル）の場合

1 **App Storeで「かんたん見守りくんfor iPhone」をダウンロードします。**

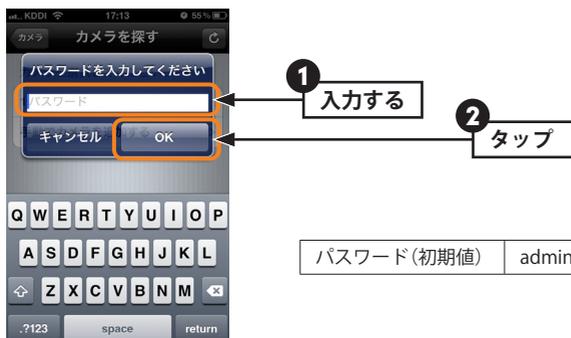
- App Storeで「かんたん見守りくん」と検索してください。

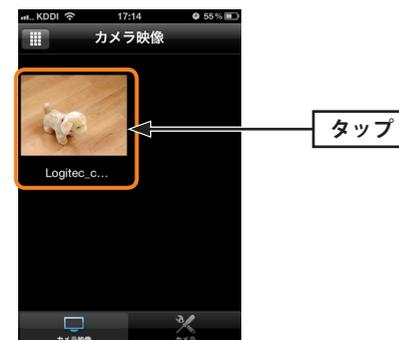
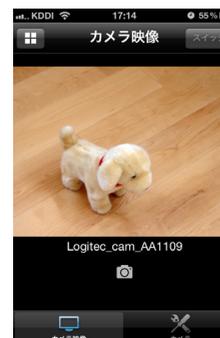
2 **ダウンロードした「かんたん見守りくんfor iPhone」をインストールします。**

3 **［かんたん見守りくん for iPhone］のアイコンをタップします。**

4 ［カメラの追加］をタップします。

5 検出されたカメラのIPアドレスをタップします。

カメラが検出されない場合
P20「1. カメラをつなぐ」をお読みになり、カメラが正しく接続されているか確認してください。

6 パスワードを入力し、 OK をタップします。

パスワード（初期値）	admin

7 カメラ映像 をタップします。

8 カメラからの映像をタップします。

9 カメラの映像が表示されます。

●アイコンの機能

カメラ映像	カメラ映像	すでにカメラが登録されている場合、カメラの映像が表示されます。
カメラ	カメラ	カメラを追加することができます。手動で設定する場合は、さらに手動設定のための画面が表示されます。

「かんたん見守りくん iPhone版」のカメラ映像画面についての詳細は、P91「カメラ映像画面とネットワーク設定画面」をお読みください。

Android端末の場合

1 **“Google Playストア（旧Android Market）”で「かんたん見守りくんfor Android」をダウンロードします。**

- “Google Playストア”で「かんたん見守りくん」と検索してください。
- 右のQRコードからもダウンロードサービスサイトにアクセスできます。

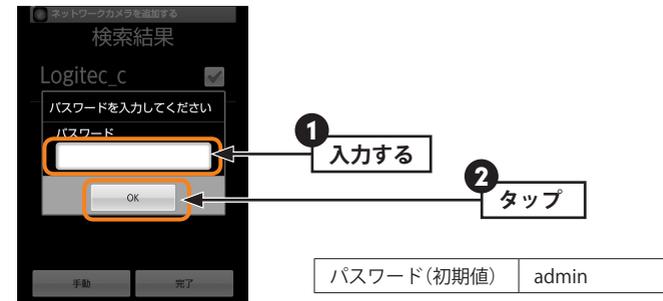
2 **ダウンロードした「かんたん見守りくんfor Android」をインストールします。**

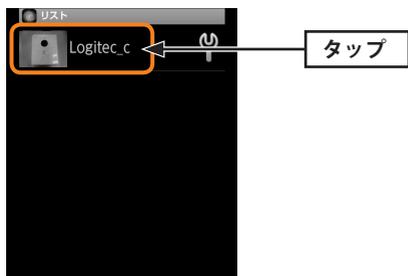
3 **［かんたん見守りくん for Android］のアイコンをタップします。**

4 **OK をタップします。**

5 **検出されたカメラのチェックボックスをタップします。**

カメラが検出されない場合
P20「1. カメラをつなぐ」をお読みになり、カメラが正しく接続されているか確認してください。

6 **パスワードを入力し、OK をタップします。**

パスワード（初期値）	admin

7 カメラからの映像をタップします。

8 カメラの映像が表示されます。

●アイコンの機能

	スナップショット	映像を静止画として保存します。
	画面分割	複数のカメラが登録されている場合、画面を4分割または12分割で表示することができます。
	カメラ映像	明度、彩度、鮮鋭度をそれぞれ5段階で調整できます。 初期値は、明度、彩度は「3」、鮮鋭度は「5」です。
	パン・チルト操作	本製品はパン・チルトに対応していませんので、使用できません。

「かんたん見守りくん Android版」のカメラ映像画面についての詳細は、P94「カメラ映像画面」をご覧ください。

パソコンからカメラにアクセスする

パソコンから有線LANまたは無線LANで、カメラの映像にアクセスします。カメラにアクセスするには、付属のCD-ROMのソフトウェア「Internet Camera Utility」をインストールする必要があります。付属のソフトウェアはWindowsにのみ対応しています。

DHCPサーバ環境が必要です

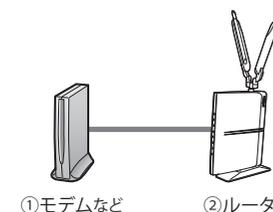
カメラは、初期値ではDHCPサーバからIPアドレスを自動取得するように設定されています。DHCPサーバ機能がない環境では、ご使用になれません。

Macから映像にアクセスするには

Macから映像にアクセスするには、あらかじめWindowsパソコンでカメラのIPアドレスを確認し、メモしたうえで、MacのWebブラウザでメモしたIPアドレスを入力することで映像を閲覧することができます。

カメラを準備する

カメラの映像を見るための環境が整っているかを確認します。

1 カメラを接続したネットワークの機器の電源がオンになっていることを確認します。

①インターネットモデム（終端装置）→②ルータの順で最初に電源をオンにしてください。

2 カメラの映像を閲覧するWindowsパソコンがネットワークにアクセスできることを確認します。

3 カメラの電源がオンになっていることを確認します。

ルータよりも先に電源をオンにすると、ネットワークに正常に認識できませんのでご注意ください。

Internet Camera Utilityのインストール

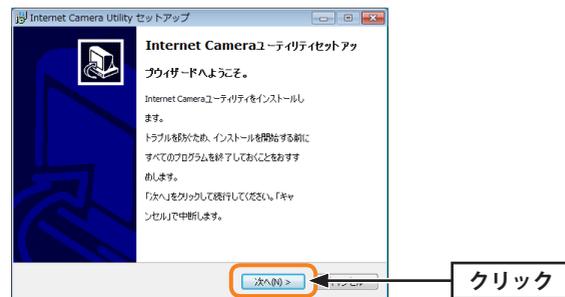
Windowsパソコンでカメラにアクセスするためのユーティリティをインストールします。このユーティリティを使うことで、カメラのIPアドレスがわからなくても、探し出してカメラにアクセスすることができます。

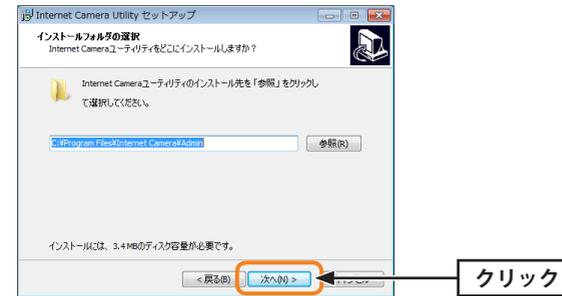
1 付属のCD-ROMをドライブにセットします。

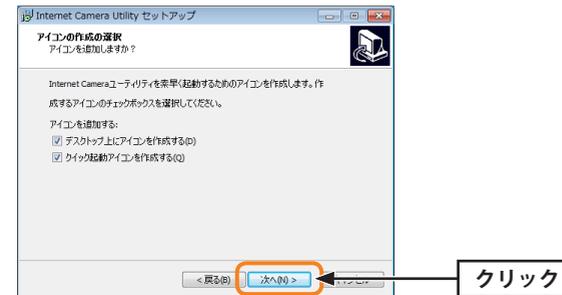
- 付属のCD-ROMをパソコンのドライブにセットすると、自動的にインストーラが起動します。

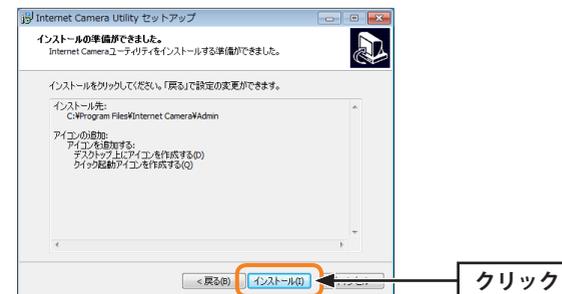
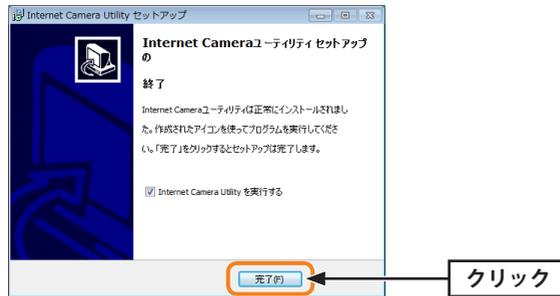
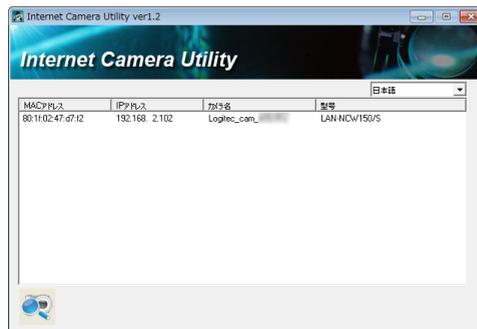
「セットアップメニュー」が表示されない場合
マイコンピュータなどでCD-ROMの内容を表示し、「Setup_Internet_Camera_Utility_ver1.0（.exe）」アイコンをダブルクリックします。

Windows Vistaで自動再生画面が表示された場合
「Setup_Internet_Camera_Utility_ver1.0.exeの実行」をクリックします。

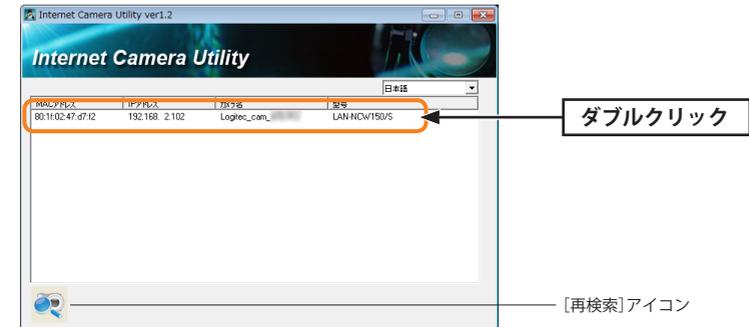
Windows 7/Vistaで〈ユーザーアカウント制御〉画面が表示された場合
Windows 7なら［はい］を、Windows Vistaなら［許可］をクリックします。

2 次へ をクリックします。

3 次へ をクリックします。

- インストール先のフォルダを変更したい場合は、 参照 をクリックしてインストール先を選択します。

4 次へ をクリックします。

- アイコンを追加したくない場合は、チェックボックスをクリックし、チェックを外します。

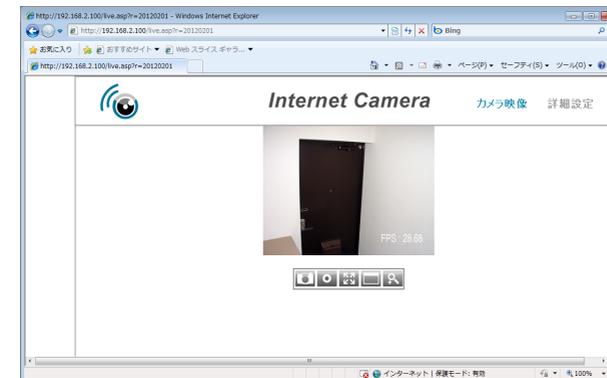
5 インストール をクリックします。

6 完了 をクリックします。

7 「Internet Camera Utility」が起動します。

8 次ページ「カメラの映像を閲覧する」へ進みます。

カメラの映像を閲覧する

1 アクセス可能なカメラが一覧で表示されます。リストのカメラの情報をダブルクリックします。

- 閲覧可能なカメラが複数ある場合は、一覧に複数のカメラの情報が表示されます。映像を閲覧するカメラの情報をクリックします。

カメラが見あたらない場合

画面左下の[再検索]アイコンをクリックすると、ネットワーク上のカメラを再検索します。[再検索]アイコンをクリックしてもカメラが見つからない場合は、P33「カメラを準備する」からお読みになり、カメラを閲覧するための準備が完了しているか確認してください。

2 Webブラウザが起動し、カメラの映像が表示されます。

[詳細設定]について

画面右上にある[詳細設定]の内容については、P65「Chapter 4：詳細設定編」をお読みください。

アドオンの実行の許可を求められた場合
「IPcamPluginDM.ocxアドオン」の実行の許可を求められた場合は、以下の手順でアドオンの実行を許可してください。

❶メッセージをクリックします。
❷ポップアップメニューの「アドオンの実行」を選択します。

※Windows XPの場合、[Active Xコントロールのインストール]を選択します。

❸[実行する]をクリックします。

※Windows XPの場合、[OK]をクリックします。

●メイン画面のボタンの機能

	撮影する	映像を静止画として保存します。
	録画を開始する/録画を停止する	このボタンをクリックすると映像の録画を開始します。NASに保存する場合は、あらかじめ保存先を設定しておく必要があります(→P83「保存設定」)。閲覧中のパソコンに保存する場合は、保存場所を指定します。 録画中にこのボタンを再度クリックすると、録画を停止します。
	ウインドウサイズに合わせる	映像が画面のサイズと合っていない場合に、画面のサイズにぴったり合うように調整します。
	フルスクリーン	映像をフルスクリーンで表示します。フルスクリーン状態で画面をダブルクリックするか、[ESC]キーを押すと、元に戻ります。
	デジタルズーム	映像の一部を拡大して表示することができます。[有効]をチェックしたあと、倍率(%)と拡大したい場所を指定します。

各ボタンの詳しい操作方法については、P97「10. Internet Camera Utilityのカメラ操作」をお読みください。

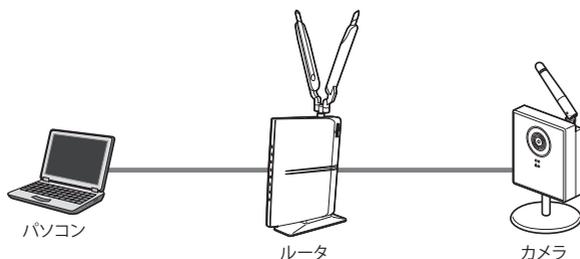
Chapter 3

インターネット接続編

1 外部接続のための設定をする

インターネットを経由してカメラの映像を閲覧するには、初めにさまざまな設定が必要です。ここでは設定の手順を説明しています。

設定にはWindowsパソコンが必要です
設定にはWindowsパソコンが必要になります。カメラを接続したネットワークに接続できるWindowsパソコンをご用意ください。

接続例

すべての設定が終わり、カメラの映像にアクセスできることが確認できれば、Windowsパソコンがなくても利用できるようになります。

ご注意： カメラは、初期値ではDHCPサーバよりIPアドレスを自動取得する設定になっています。設定のためには、DHCPサーバ機能を利用しているネットワークが必要です。

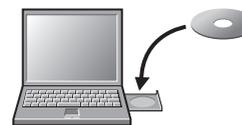
カメラのIPアドレスを設定する

カメラは初期値では、DHCPサーバ機能を使ってIPアドレスを自動取得するように設定されています。インターネットからカメラにアクセスするには、常にカメラのIPアドレスが同じである必要があります。

Internet Camera Utilityのインストール

Windowsパソコンでカメラにアクセスするためのユーティリティをインストールします。このユーティリティを使うことで、カメラのIPアドレスがわからなくても、探し出してカメラにアクセスすることができます。

すでにインストール済みの場合は、この作業は不要です。P43「IPアドレスの設定」へ進みます。

1 付属のCD-ROMをドライブにセットします。

- 付属のCD-ROMをパソコンのドライブにセットすると、自動的にインストーラが起動します。

「セットアップメニュー」が表示されない場合
マイコンピュータなどでCD-ROMの内容を表示し、「Setup_Internet_Camera_Utility_ver1.0(.exe)」アイコンをダブルクリックします。

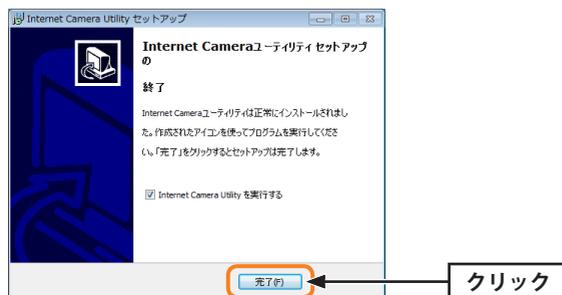
Windows Vistaで自動再生画面が表示された場合
「Setup_Internet_Camera_Utility_ver1.0.exeの実行」をクリックします。

Windows 7/Vistaで〈ユーザーアカウント制御〉画面が表示された場合
Windows 7なら[はい]を、Windows Vistaなら[許可]をクリックします。

2 次へ をクリックします。

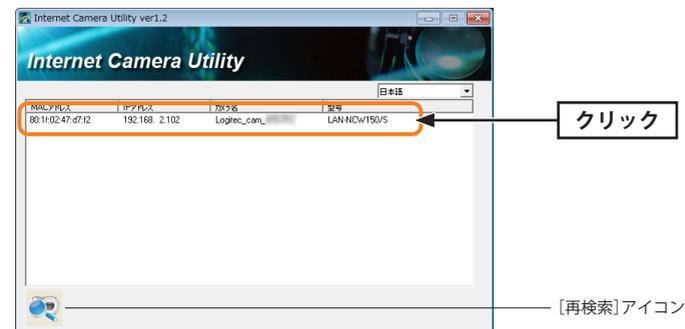
3 このあとは、メッセージに従ってインストールを進めます。

詳しい手順を知りたいときは、P34「Internet Camera Utilityのインストール」をお読みください。インストールが終われば、P43「IPアドレスの設定」へ進みます。

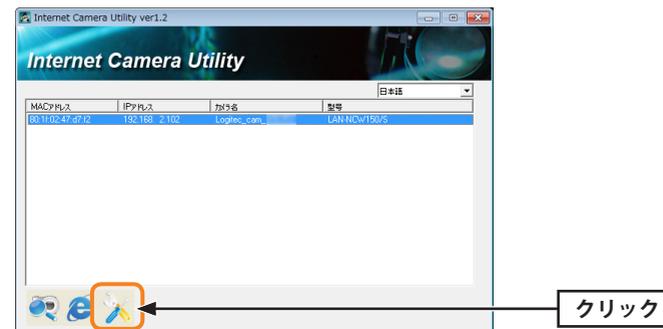
4 〈Internet Cameraユーティリティ セットアップの終了〉画面が表示されたら、完了 をクリックします。「Internet Camera Utility」が起動します。

5 次ページ「IPアドレスの設定」へ進みます。

IPアドレスの設定

カメラのIPアドレスを設定します。

1 リストのカメラの情報を選択します。

• 閲覧可能なカメラが複数ある場合は、一覧に複数のカメラの情報が表示されます。IPアドレスを設定するカメラの情報をクリックします。

カメラが見あたらない場合
画面左下の［再検索］アイコンをクリックすると、ネットワーク上のカメラを再検索します。［再検索］アイコンをクリックしてもカメラが見つからない場合は、P33「カメラを準備する」からお読みになり、カメラを閲覧するための準備が完了しているか確認してください。

2 画面左下にある をクリックします。

3 パスワードを入力し、 OK をクリックします。

パスワード（初期値）	admin

※ログイン名は固定ですので変更できません。

4 ［IPアドレス固定］を選択し、IPアドレスを設定します。設定が終われば、 OK をクリックします。

- ここでは例として192.168.2.90を指定しています。
- Webポートは「80」で変更の必要はありません。もし、変更した場合は、メモしておいてください。

● IPアドレスメモ欄

192.168.　　　　.

IPアドレス設定時の注意

IPアドレスは他のネットワーク機器と重ならないようにしてください。同じIPアドレスの機器が複数あると、正常に動作しないだけでなく、ネットワーク全体に影響を与える可能性があります。ネットワーク全体のIPアドレスは、一般的にルータのユーティリティの機能などで確認できます。

5 IPアドレスが変更されていることを確認します。確認が終われば、 をクリックし、画面を閉じます。

6 次の「クリアネットに登録する」へ進みます。

クリアネットに登録する

弊社製ルータをご使用の場合は、DDNSサービス「クリアネット」を無料でご利用いただけます。クリアネットに登録するには、弊社製ルータの「シリアル番号」が必要になります。

「クリアネット」について

「クリアネット」を無料でご利用いただける期間は2017年5月31日までです。また、対象製品からクリアネットへのアクセスが1年間ない場合は自動的にユーザー登録が削除されます。詳しくは http://www.logitec.co.jp/products/ddns.html「ご利用料金および期間について」をご参照ください。

他社製ルータをご使用の場合、またはクリアネットを使用しない場合

❶他のDDNSサービスをご利用ください。登録時の以下の情報をメモしておいてください。

ニックネーム、ユーザーID、パスワード、ホスト名

※ご利用になるDDNSサービスによって、項目の名称が異なります。

❷DDNSサービス登録後、メモとご使用になっているルータのマニュアルをご用意いただき、P50「DDNSとNATの設定」へ進みます。

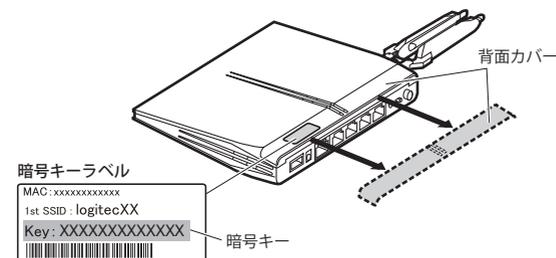
クリアネット以外のDDNSサービスのサポートについて

「クリアネット」以外のDDNSサービスについては、弊社のサポート対象外となります。ご不明な点は、DDNSサービスの提供会社にお尋ねください。

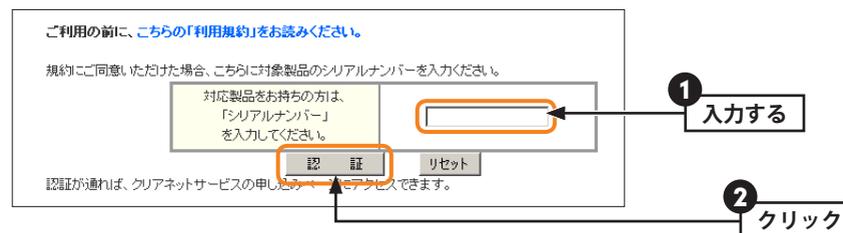
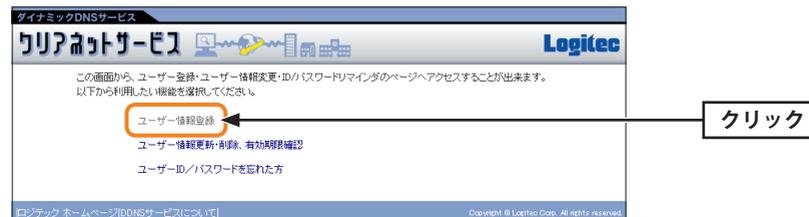
1 **インターネットに接続できるパソコンで、Webブラウザを使って弊社の「クリアネット」サービスに登録します。**

アドレス　http://www.logitec.co.jp/products/ddns.html

2 **［ご利用の手順］にある「利用規約」をお読みになり、内容を確認します。**

3 **ご使用になる弊社製ルータのシリアルナンバーを入力し、［認証］をクリックします。**

●弊社製スリムルータ（下記に記載の機種）の場合は、ルータの背面カバーを外したところにあるラベルに記載されています。

弊社製スリムルータ
- LAN-W300Nシリーズ
- LAN-WH300Nシリーズ
- LAN-WH300ANシリーズ
- LAN-WH450Nシリーズ

●その他の弊社製ルータについては、各ルータに付属の「はじめにお読みください」をお読みになり、SSIDと暗号キーの記載場所をご確認ください。

4 **［ユーザー情報登録］をクリックします。**

5 必要事項を入力し、 内容確認 をクリックします。

ユーザーID	ユーザーIDを入力します。半角英数字20文字以内で自由に設定できます。
パスワード	パスワードを入力します。半角英数字4～8文字で自由に設定できます。
パスワード(確認用)	もう一度、同じパスワードを入力します。
メールアドレス	連絡先のメールアドレスを入力します。
ニックネーム	識別用の名称を入力します。全角30文字（半角60文字）以内で自由に設定できます。
希望ホスト名	ホスト名称を設定します。「xxxx.clear-net.jp」のxxxxにあたる部分の名称です。半角英数字20文字以内で自由に設定できます。

6 内容が正しければ、 登録 をクリックします。

7 登録完了メールのお知らせが表示されます。 閉じる をクリックします。

8 しばらくすると、登録完了メールが届きます。メールの内容のうち、以下の内容をメモしておきます。

【ロジテックからクリアネットサービス登録完了のお知らせ】

このメールはクリアネットサービス登録された方に、ユーザーID･パスワードおよび、ホスト名を自動送信しております。

logitecuserman 様

この度はご登録いただきまして誠にありがとうございました。
お客様のユーザーID･パスワードおよび、ホスト名は以下の通りです。

ユーザーID　:testuser
パスワード　:test
ホスト名　:logitecclear.clear-net.jp

今後ともロジテックをご愛顧賜りますようお願い申し上げます。

ニックネーム	
ユーザーID	
パスワード	
ホスト名	

DDNSとNATの設定

インターネット経由でカメラの映像を閲覧できるように、弊社製無線ルータの設定ユーティリティを使って、DDNSとNATについて設定します。
ここでは弊社製スリムルータ（下記に記載の機種）での設定手順を説明しています。スリムルータ以外の弊社製ルータについては、この手順を参考にご使用のルータのユーザーズマニュアル（※）をご用意いただき、該当部分の説明をお読みください。

※ユーザーズマニュアルはPDFでのみ提供されています。また、弊社ホームページよりダウンロードしていただく必要があります。

弊社製スリムルータ
- LAN-W300Nシリーズ
- LAN-WH300Nシリーズ
- LAN-WH300ANシリーズ
- LAN-WH450Nシリーズ

他社製ルータをご使用の場合
お手元にご使用のルータのマニュアルをご用意いただき、弊社製ルータでの設定内容を参考にしながら、DDNSおよびNATに関する設定をしてください。

他社製ルータの設定に関するサポートについて
DDNS設定およびNAT設定は、ご使用のルータ側の機能になります。他社製ルータの設定に関することは、弊社のサポート対象外となります。ご不明な点は、ご使用のルータのメーカーにお尋ねください。

1 **カメラに設定したIPアドレスやクリアネットの情報が必要になります。ご用意ください。**

●カメラのIPアドレス　※P44「IPアドレスメモ欄」にメモしている場合は、そちらを参照してください。

① 192.168.　　　.

長期にわたって運用される場合、カメラのIPアドレスは固定IPを使用することをお勧めします。

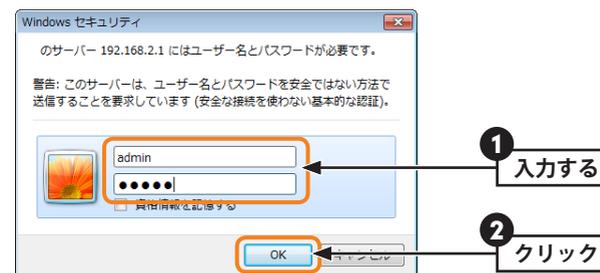
●クリアネットの情報

②ユーザーID	
③パスワード	

2 **パソコンのWebブラウザを起動します。アドレス入力欄に「192.168.2.1」と入力し、キーボードの[Enter]キーを押します。**

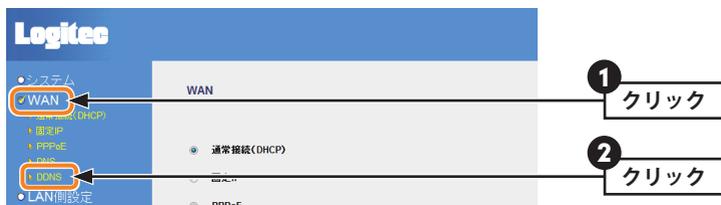
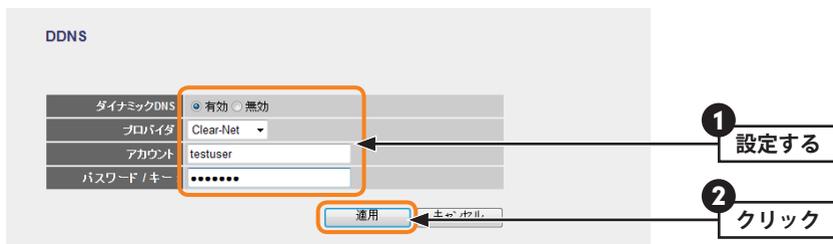
（画面はInternet Explorerの例です）

- ルータのIPアドレスを変更している場合は、変更したIPアドレスを入力します。

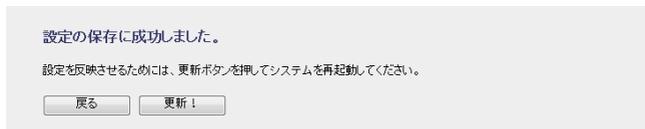
3 **認証画面が表示されます。ルータのユーザー名とパスワードを入力し、OK をクリックします。**

- 弊社製スリムルータ（P50「弊社製スリムルータ」参照）のユーザー名とパスワードの初期値は、それぞれ「admin」です。

4 **詳細設定（上級者向け）をクリックします。**

※ご使用のルータによって、画面の内容が異なることがあります。

5 左のメニューリストから［WAN］→［DDNS］を選択します。

6 ［ダイナミックDNS］の［有効］を選択し、必要な情報を設定します。設定が終われば 適用 をクリックします。

●設定する項目

ダイナミックDNS	［有効］を選択します。
プロバイダ	［Clear-Net］を選択します。
アカウント	クリアネットに登録した「②ユーザーID」（手順 1 参照）を入力します。
パスワード/キー	クリアネットに登録した「③パスワード」（手順 1 参照）を入力します。

7 「設定の保存に成功しました。」と表示されます。そのまま手順 8 へ進みます。

• この時点では、設定内容はシステムに反映されていません。

8 左のメニューリストから［NAT］→［ポート転送］を選択します。

9 以下の項目の設定と操作をします。

❶ ［ポート転送を有効にする］をチェックします。
❷ ［ローカルIP］に、カメラの「IPアドレス①」（手順 1 参照）を入力します。
❸ ［ポート範囲］に「80-80」と入力します。
・ P44手順 4 で「Webポート」を変更している場合は、そのポート番号を開始番号と終了番号、それぞれの枠に入力します。
❹ 追加 をクリックします。

10 **「現在のポート転送リスト」に登録した内容が表示されていることを確認し、 適用 をクリックします。**

11 **更新 をクリックします。**

• メッセージが表示され、 OK ボタンにカウンタが表示されます。

12 **カウンタが0になり、 OK ボタンが有効になればクリックします。**

13 **これでインターネットを経由してカメラの映像を閲覧する準備ができました。次ページ「2. インターネットからカメラにアクセスする」へ進みます。**

2 インターネットからカメラにアクセスする

インターネットを経由してカメラの映像を閲覧します。

インターネットを経由したカメラの映像の閲覧には、事前にDDNSなどの設定が必要です。まだ設定が完了していない場合は、P40「1. 外部接続のための設定をする」をお読みになり、必要な設定をしてください。

iPhoneなどiOSモデルからのアクセス

3G回線を使ってインターネット経由でカメラにアクセスします。初めてカメラにアクセスするときは、接続時に初期設定が必要です。

注意

3G回線を使ってカメラの映像にアクセスする場合、ご契約の内容によっては、パケット代が発生しますのでご注意ください。

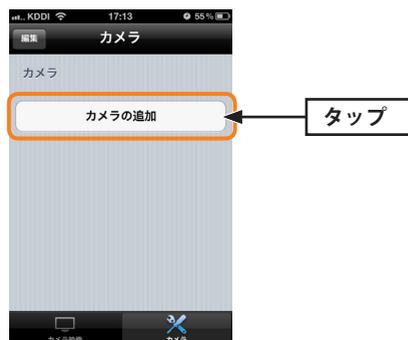
ここでのカメラへのアクセス方法は、3G回線を使う場合の手順です。iPhoneのWi-Fi接続を利用し、Webブラウザからカメラにアクセスする場合は、P62「パソコンからのアクセス」をお読みください。

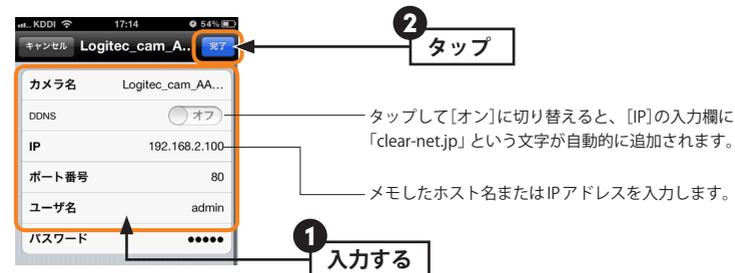
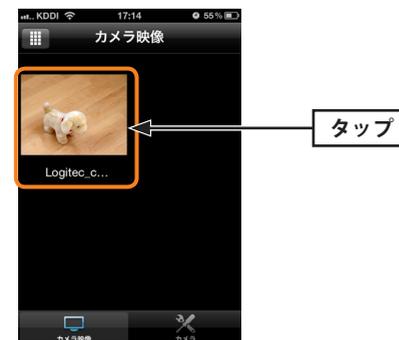
1 **事前に以下の情報を用意します。**

①クリアネットのホスト名	P49の手順 8 でメモしたホスト名を入力します。 （例）XXXX.clear-net.jp ※XXXXの部分は、ユーザーにより異なります。
②利用するポート番号	初期値は「80」です。変更した場合は、メモしておいてください。
③カメラにアクセスするための ユーザー名	「admin」固定です。
④カメラにアクセスするための パスワード	初期値は「admin」です。 P85「カメラ設定」でパスワードを変更している場合は、メモしておいてください。

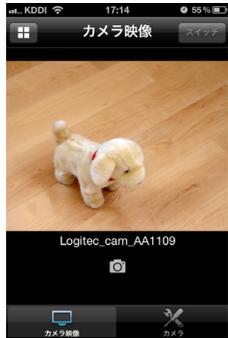
※他のDDNSサービスをご利用の場合は、それぞれのDDNSサービスのホスト名をメモしておいてください。

2 ［かんたん見守りくん for iPhone］のアイコンをタップします。

3 ［カメラの追加］をタップします。

4 ［手動でカメラを追加する］をタップします。

5 手順 **1** を参考に必要な情報を入力し、 完了 をタップします。

• カメラ名は任意の名称を入力できます。

6 カメラからの映像をタップします。

7 カメラの映像が表示されます。

●アイコンの機能

カメラ映像	カメラ映像	すでにカメラが登録されている場合、カメラの映像が表示されます。
カメラ	カメラ	カメラを追加することができます。手動で設定する場合は、さらに手動設定のための画面が表示されます。

「かんたん見守りくん iPhone版」のカメラ映像画面についての詳細は、P91「カメラ映像画面とネットワーク設定画面」をお読みください。

Android端末からのアクセス

3G回線を使ってインターネット経由でカメラにアクセスします。初めてカメラにアクセスするときは、接続時に初期設定が必要です。

3G回線を使ってカメラの映像にアクセスする場合、ご契約の内容によっては、パケット代が発生しますのでご注意ください。

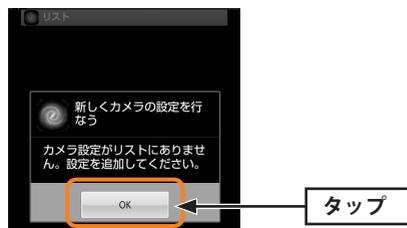
ここでのカメラへのアクセス方法は、3G回線を使う場合の手順です。Android端末のWi-Fi接続を利用し、Webブラウザからカメラにアクセスする場合は、P62「パソコンからのアクセス」をお読みください。

1 事前に以下の情報を用意します。

①クリアネットのホスト名	P49の手順 **8** でメモしたホスト名を入力します。 （例）XXXX.clear-net.jp ※XXXXの部分は、ユーザーにより異なります。
②利用するポート番号	初期値は「80」です。変更した場合は、メモしておいてください。
③カメラにアクセスするためのユーザー名	「admin」固定です。
④カメラにアクセスするためのパスワード	初期値は「admin」です。 P85「カメラ設定」でパスワードを変更している場合は、メモしておいてください。

※他のDDNSサービスをご利用の場合は、それぞれのDDNSサービスのホスト名をメモしておいてください。

2 ［かんたん見守りくん for Android］のアイコンをタップします。

3 OK をタップします。この画面が表示されない場合は、手順 4 へ進みます。

4 手動 をタップします。

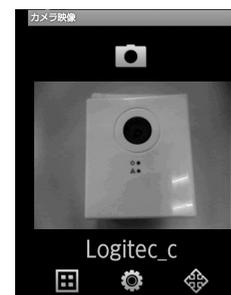
リストが表示され、手動ボタンが表示されない場合

❶ Android端末本体のメニューキー ☰ を押します。
❷ 追加 をタップします。
❸ 手動 をタップします。

5 手順 1 を参考に必要な情報を入力し、完了 をタップします。

• カメラ名は任意の名称を入力できます。

6 カメラからの映像をタップします。

7 カメラの映像が表示されます。

●アイコンの機能

	スナップショット	映像を静止画として保存します。
	画面分割	複数のカメラが登録されている場合、画面を4分割または12分割で表示することができます。
	カメラ映像	明度、彩度、鮮鋭度をそれぞれ5段階で調整できます。 初期値は、明度、彩度は「3」、鮮鋭度は「5」です。
	パン・チルト操作	本製品はパン・チルトに対応していませんので、使用できません。

「かんたん見守りくん Android版」のカメラ映像画面についての詳細は、P94「カメラ映像画面」をご覧ください。

パソコンからのアクセス

インターネット回線を使ってパソコンからカメラにアクセスします。以下の手順で、iPhoneやAndroid端末からWi-Fi接続を使って、Webブラウザで閲覧することも可能です。スマートフォンからWi-Fi接続を利用する場合は、3G回線のパケット代はかかりません。

ここでのカメラへのアクセス方法は、パソコンからインターネット回線を利用する手順を説明しています。スマートフォンで3G回線を使う場合は、iPhoneなどiOSモデルについては、P55「iPhoneなどiOSモデルからのアクセス」を、Android端末については、P59「Android端末からのアクセス」をお読みください。

1 **事前に以下の情報を用意します。**

①クリアネットのホスト名	P49の手順 **8** でメモしたホスト名を入力します。 （例）XXXX.clear-net.jp ※XXXXの部分は、ユーザーにより異なります。
②利用するポート番号	初期値は「80」です。変更した場合は、メモしておいてください。
③カメラにアクセスするための ユーザー名	「admin」固定です。
④カメラにアクセスするための パスワード	初期値は「admin」です。 P85「カメラ設定」でパスワードを変更している場合は、メモしておいてください。

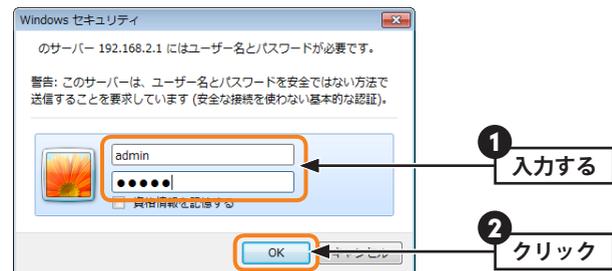
※他のDDNSサービスをご利用の場合は、それぞれのDDNSサービスのホスト名をメモしておいてください。

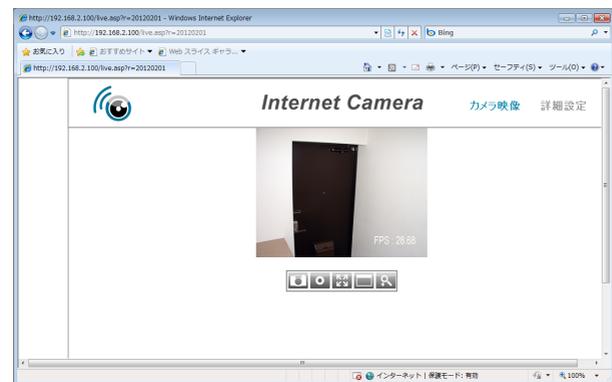
2 **Webブラウザを起動します。**

3 **アドレス入力欄に以下の内容を入力し、実行します。**

http://（ホスト名）.clear-net.jp:（ポート番号）

（例）ホスト名「logitecclear」、使用ポート「80」番の場合
http://logitecclear.clear-net.jp:80

4 **ユーザー認証画面が表示されます。ユーザー名に「admin」と入力し、パスワードを入力します。 OK をクリックします。**

ここで入力するパスワードは、P85「カメラ設定」で設定したパスワードです。パスワードの初期値は「admin」です。

5 **カメラの映像が表示されます。**

アドオンの実行の許可を求められた場合
P38のメモ「アドオンの実行の許可を求められた場合」をお読みください。

●メイン画面のボタンの機能

	撮影する	映像を静止画として保存します。
	録画を開始する/ 録画を停止する	このボタンをクリックすると映像の録画を開始します。NASに保存する場合は、あらかじめ保存先を設定しておく必要があります（→P83「保存設定」）。閲覧中のパソコンに保存する場合は、保存場所を指定します。 録画中にこのボタンを再度クリックすると、録画を停止します。
	ウインドウサイズに合わせる	映像が画面のサイズと合っていない場合に、画面のサイズにぴったり合うように調整します。
	フルスクリーン	映像をフルスクリーンで表示します。フルスクリーン状態で画面をダブルクリックするか、[ESC]キーを押すと、元に戻ります。
	デジタルズーム	映像の一部を拡大して表示することができます。[有効]をチェックしたあと、倍率(%)と拡大したい場所を指定します。

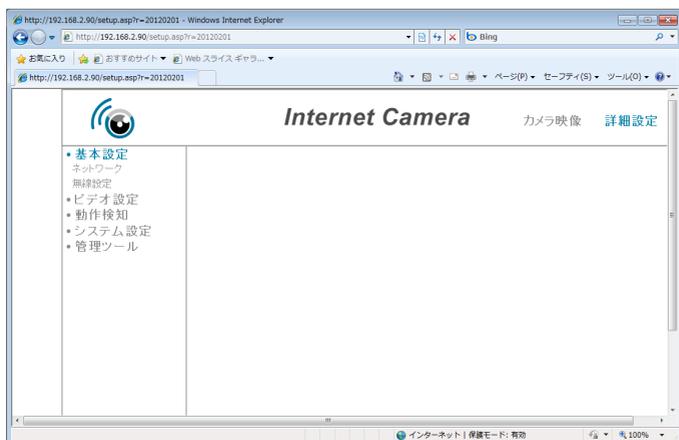
各ボタンの詳しい操作方法については、P97「10. Internet Camera Utilityのカメラ操作」をお読みください。

Chapter 4

詳細設定 編

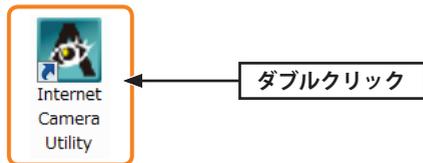
1 設定ユーティリティの機能

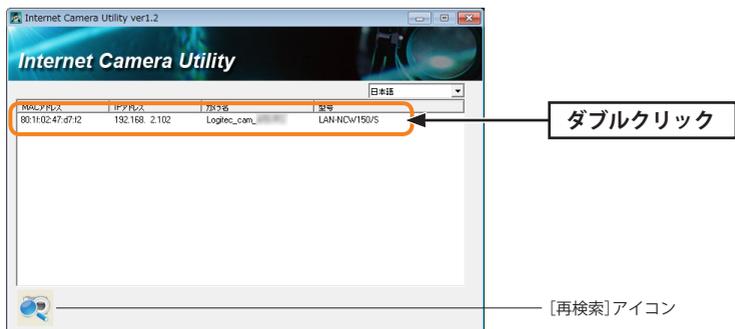
パソコンのWebブラウザからカメラの設定ユーティリティにアクセスすると、詳細な機能を設定することができます。

設定ユーティリティの機能

●メニュー一覧

基本設定	ネットワーク（→P71）	DHCPサーバ機能の有効/無効、固定IPアドレスの設定ができます。
	無線設定（→P73）	無線接続の有効/無効をはじめ、使用する通信規格、SSID、暗号化方式などを設定できます。
ビデオ設定	画面設定（→P77）	画像のサイズ、フレームレート、ACコンセントの周波数（50Hzまたは60Hz）を設定できます。
	画像エフェクト（→P78）	カメラ映像の明度、コントラスト、彩度、鮮鋭度、色調を、お好みの状態に設定できます。
動作検知	動作検知設定（→P79）	撮影中の映像に変化があった場合に検知する「動作検知機能」の有効/無効を設定できます。また保存した映像をメールで送信するよう設定できます。
	動作検知設定 動作検知範囲（→P80）	動作検知の対象となる範囲を指定できます。最大3か所の設定が可能です。
	動作検知設定 メール設定（→P82）	動作を検知し、保存した映像をメールで送信する場合に、送信先のメールアドレスを設定できます。
システム設定	保存設定（→P83）	カメラの映像をNAS上に録画する場合、保存先を設定できます。
	カメラ設定（→P85）	カメラの名称、パスワード、LEDのオン/オフを設定できます。
	ファームウェア更新/リセット（→P86）	• 弊社ホームページからファームウェアをダウンロードして更新（アップデート）することで、カメラを最新の状態にすることができます。 • カメラの詳細設定などの設定情報をファイルとしてバックアップすることができます。 • カメラを再起動または工場出荷時の状態に戻すことができます。
管理ツール	機器のステータス（→P89）	カメラのファームウェアバージョンやネットワークに関する情報を表示できます。
	ログ（→P90）	カメラのシステムログを確認することができます。

設定ユーティリティを表示する

1 ［Internet Camera Utility］のアイコンをダブルクリックします。

［(すべての) プログラム］→［Internet Camera］→［Internet Camera Utility］からも、プログラムを起動することができます。
※インストール先を変更している場合は、変更したインストール先を指定します。

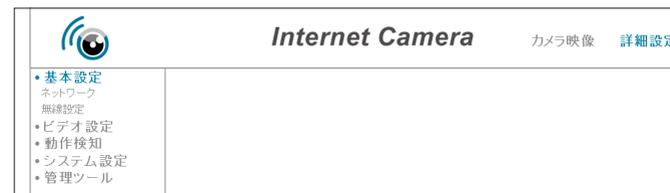
2 リストのカメラの情報を選択します。

• 閲覧可能なカメラが複数ある場合は、一覧に複数のカメラの情報が表示されます。

カメラが見あたらない場合
画面左下の［再検索］アイコンをクリックすると、ネットワーク上のカメラを再検索します。
［再検索］アイコンをクリックしてもカメラが見つからない場合は、P33「カメラを準備する」からお読みになり、カメラを閲覧するための準備が完了しているか確認してください。

3 機能の詳細設定をする場合は、画面右上の［詳細設定］をクリックします。

4 ユーザー名とパスワードを入力し、 OK をクリックします。

ユーザー名（初期値）	admin
パスワード（初期値）	admin

5 詳細設定のメイン画面が表示されます。

6 左のメニューリストから設定する項目を選択します。

• 各設定項目の説明は、それぞれのページをお読みください（→P66「メニュー 一覧」参照）。

2 カメラ映像

カメラの設定ユーティリティにアクセスしたときに表示される画面です。カメラが撮影した映像が表示されます。映像の下には、5つのボタンメニューが表示されます。

	撮影する	このボタンをクリックすると映像を静止画として保存します。NASに保存する場合は、あらかじめ保存先を設定しておく必要があります（→P83「保存設定」）。閲覧中のパソコンに保存する場合は、保存場所を指定します。
	録画を開始する/録画を停止する	このボタンをクリックすると映像の録画を開始します。NASに保存する場合は、あらかじめ保存先を設定しておく必要があります（→P83「保存設定」）。閲覧中のパソコンに保存する場合は、保存場所を指定します。 録画中にこのボタンを再度クリックすると、録画を停止します。
	ウインドウサイズに合わせる	映像が画面のサイズと合っていない場合に、画面のサイズにぴったり合うように調整します。
	フルスクリーン	映像をフルスクリーンで表示します。フルスクリーン状態で画面をダブルクリックするか、［ESC］キーを押すと、元に戻ります。
	デジタルズーム	映像の一部を拡大して表示することができます。［有効］をチェックしたあと、倍率（%）と拡大したい場所を指定します。

各ボタンの詳しい操作方法については、P97「10. Internet Camera Utilityのカメラ操作」をお読みください。

3 基本設定

カメラの基本機能を設定します。

ネットワーク

DHCPサーバ機能の有効/無効、固定IPアドレスの設定ができます。

［ホーム］→［詳細設定］→［基本設定］→［ネットワーク］

設定を変更した場合

設定を変更した場合は、最後に必ず 適用 をクリックしてください。
IPアドレスが変更されると画面は更新されません。3分以上経過したら、画面を閉じ、「Internet Camera Utility」で検索を実行後、リストのカメラを選択してください。

■ネットワーク

接続方式	DHCP：カメラのIPアドレスをルータから自動取得します。 固定IP：カメラのIPアドレスを手動で設定します。「固定IP」を選択すると固定IPを設定する項目が表示されます。内容については、この後の「固定IP」をお読みください。 初期値＝DHCP
ポート番号	使用するポート番号を設定します。通常は変更する必要はありません。 初期値＝80

カメラのIPアドレスは固定IPを推奨します

カメラのIPアドレスは、固定IPを使用することをお勧めします。DHCPサーバ機能を利用した場合、ネットワーク環境が変化するとカメラのIPアドレスが自動的に変わる恐れがあります。

■固定IP　※［接続方式］で［固定IP］を選択した場合に表示されます。

ネットワーク

接続方式:　固定IP

固定IP

IPアドレス:　192.168.2.90
サブネットマスク:　255.255.255.0
ゲートウェイ:　192.168.2.1
DNS1:　192.168.2.1
DNS2:
ポート番号:　8000
適用

※設定を変更した場合は、［適用］をクリックします。

IPアドレス	カメラのIPアドレスを手動で設定します。他のネットワーク機器のIPアドレスと同じにならないように設定してください。
サブネットマスク	サブネットマスクを設定します。通常は変更する必要はありません。
ゲートウェイ	ゲートウェイを設定します。カメラが接続されたネットワーク上のルータに設定された（ローカル）IPアドレスを指定します。
DNS1	DNSのアドレスを入力します。通常はゲートウェイと同じ数値を指定します。
DNS2	セカンダリのDNSがある場合にアドレスを入力します。
ポート番号	使用するポート番号を設定します。通常は変更する必要はありません。 初期値＝8000

無線設定

無線接続の有効/無効をはじめ、使用する通信規格、SSID、暗号化方式などを設定できます。

［ホーム］→［詳細設定］→［基本設定］→［無線設定］

設定を変更した場合

設定を変更した場合は、最後に必ず［適用］をクリックしてください。

無線接続	有効：カメラの無線LAN機能を使用できます。 無効：カメラの無線LAN機能が使用できなくなります。 初期値＝有効
モード	無線LANで使用する無線規格を選択します。 2.4GHz（B）：11b規格のみ使用します。 2.4GHz（G）：11g規格のみ使用します。 2.4GHz（B＋G）：11b/11gの2規格を使用します。 2.4GHz（G＋N）：11g/11nの2規格を使用します。 2.4GHz（B＋G＋N）：11b/11g/11nの3規格を使用します。 初期値＝2.4GHz（B＋G＋N）
帯域	無線LANの帯域幅を選択します。 20MHz：1チャンネル分の帯域幅で通信します。 Auto 20/40MHz：通信環境にあわせて自動的に20MHzまたは40MHz（デュアルチャンネル）のいずれか、最適なチャンネル幅に切り替えて通信します。 初期値＝Auto 20/40MHz
利用可能のネットワーク	カメラが電波を受信可能な範囲にある無線親機を一覧で表示します。一覧の［接続］をクリックすると、選択したSSIDに接続できます。更新 をクリックすると、一覧の内容が更新されます。接続方法については、P21「カメラを無線LANでつなぐ」をお読みください。

●無線LAN設定を手動で設定する場合の項目

「WPS」機能を使用する場合は、設定する必要はありません。変更した場合は、必ず 適用 をクリックします。

SSID	無線親機と同じSSIDを入力します。半角英数字で大文字/小文字が区別されます。［利用可能のネットワーク］の［接続］を選択している場合は、そのSSIDが表示されます。
チャンネル	無線LANで使用するチャンネルを指定します。 初期値＝Auto
認証方式	無線親機と同じ認証方式を選択します。 None：セキュリティ機能を使用しません。 WEP：WEP64ビットまたはWEP128ビットが使用できます。 WPA-PSK：WPA-PSK（TKIP）が使用できます。 WPA2-PSK：もっともセキュリティ度の高い認証方式です。WPA2-PSK（AES）が使用できます。 初期値＝None
暗号化タイプ	［認証方式］の選択内容によって表示される項目が異なります。 設定を変更することはできません。 WEPを選択：Auto、WPA-PSK：TKIP、WPA2-PSK：AES
WPAプレシェアードキー	WPA-PSKまたはWPA2-PSKを使用する場合に、無線親機と同じ暗号キー（パスフレーズ）を入力します。半角英数字で大文字/小文字が区別されます。
WEPキーフォーマット	WEPを使用する場合に、無線親機と同じWEPキーフォーマットを選択します。 HEX：16進数を使用します。 ASCII：ASCII文字を使用します。 初期値＝HEX
WEPキー長	WEPで使用するキーの長さを選択します。無線親機と同じキー長を選択します。 64-bit：WEP64（64ビット）、128-Bit：WEP128（128ビット） 初期値＝64-Bit
デフォルト	使用するWEPキー番号を選択します。無線親機と同じキー番号を選択します。 初期値＝1
WEPキー1〜4	［デフォルト］で選択したキー番号と同じWEPキー番号に、無線親機と同じ暗号キーを半角英数字で入力します。ASCII文字の場合は、大文字/小文字が区別されます。

WPS

WPS（Wi-Fi Protected Setup）機能を設定し、実行することができます。

WPS
PINコード:　44549152
ボタンで設定:　Start PBC
APのSSIDで設定:　Start PIN

PINコード	カメラのPINコードを使って無線親機側で設定する場合に必要なコードです。このコードを無線親機側に設定し、WPS機能を実行します。
ボタンで設定	Start PBC ボタンをクリックすることで、カメラの本体背面にあるWPSボタンを押した場合と同じ状態になります。 ボタンをクリックすると、ボタン上にカウンタが表示されます。120秒以内に無線親機のWPSボタンを押すなどして、WPS機能を実行します。 設定に失敗した場合は、再度やり直してください。
APのSSIDで設定	カメラのPINコードを無線親機側に入力して、WPS機能を実行することができます。 以下の手順で実行します。 ①カメラのPINコードを無線親機側に入力します。 ②［APのSSIDで設定］に無線親機のSSIDを入力して、 Start PIN を押します。 ③無線親機のWPSボタンを押すなどして、WPS機能を実行します。 ※120秒以内に、無線親機のWPS機能を実行してください。 設定に失敗した場合は、再度やり直してください。

4 ビデオ設定

カメラに映った映像に関する設定をします。

画面設定

画像のサイズ、フレームレート、ACコンセントの周波数（50Hzまたは60Hz）を設定できます。

［ホーム］→［詳細設定］→［ビデオ設定］→［画面設定］

設定を変更した場合
設定を変更した場合は、最後に必ず 適用 をクリックしてください。

画面設定
解像度：　QVGA（320 x 240）
フレームレート：　30
周波数帯域：　50Hz(東日本)
適用

解像度	カメラの解像度を以下の3種類から選択できます。 QVGA（320×240）、VGA（640×480）、SXVGA（1280×960） 初期値＝QVGA（320×240） ※通信速度やパソコンの性能などの環境によっては、高解像度にするとコマ落ちやブロックノイズが発生することがあります。
フレームレート	1秒あたりのコマ数を設定します。最大30フレーム/秒まで設定可能です。設定可能なフレームレートは、10/15/20/25/30です。 初期値＝30 ※通信速度やパソコンの性能などの環境によっては、指定したフレームレート以下になることがあります。
周波数帯域	周波数帯域を正しく設定することで、室内の蛍光灯下での使用時に映像のチラツキを抑えることができます。 「50Hz（東日本）」、「60Hz（西日本）」から選択します。 初期値＝50Hz（東日本）

画像エフェクト

カメラ映像の明度、コントラスト、彩度、鮮鋭度、色調を調整することで、画質をお好みの状態に設定できます。マウスでスライダーを左右にドラッグすることで、調整できます。スライダーをドラッグすると、設定が表示中の画像に反映されます。満足のいく画質になれば、 設定を保存 をクリックします。
初期値＝すべての項目「50」

［ホーム］→［詳細設定］→［ビデオ設定］→［画像エフェクト］

設定を変更した場合
設定を変更した場合は、最後に必ず 設定を保存 をクリックしてください。

5 動作検知

撮影中の映像に変化があった場合に検知する「動作検知機能」について設定したり、保存した映像をメールで指定のアドレスへ送信することができます。

動作検知設定

動作検知機能を使用するかどうか、使用する場合の基本的な設定をします。

［ホーム］→［詳細設定］→［動作検知］→［動作検知設定］

設定を変更した場合
設定を変更した場合は、最後に必ず 適用 をクリックしてください。

動作検知設定
動作検知: ◉有効 ○無効
インターバル: 5秒
E-mailに送信: ○有効 ◉無効
適用

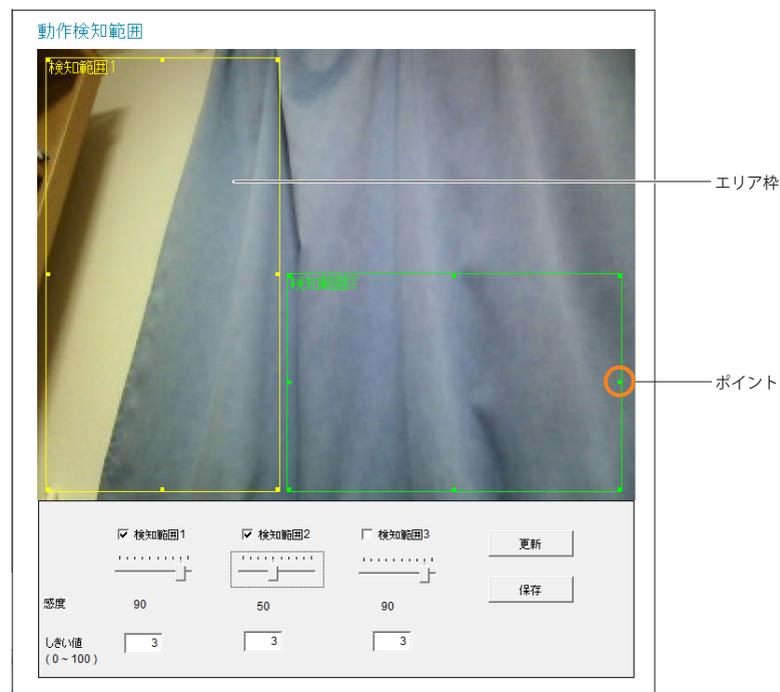
動作検知	動作検知機能の有効/無効を指定します。 初期値＝有効
インターバル	動作を検知してから次の動作の検知までのインターバルを設定します。0秒から60秒まで10段階で設定できます。インターバル中は、動作があっても検知されません。「0秒」に設定した場合は常時、動作を検知します。 なお、メールの送信間隔は最短で約60秒です。 初期値＝5秒
E-mailに送信	［検知範囲］で「有効」を選択すると、動作を検知した場合に、保存した映像をEメールで指定先へ送信します。メールの設定については、P82「E-mail設定」をお読みください。 初期値＝無効

動作検知範囲

カメラの映像の領域の中で、動作検知の対象とする範囲を指定します。最大3個の範囲を指定することができます。

 ［ホーム］→［詳細設定］→［動作検知］→［動作検知設定］→［動作検知範囲］

設定を変更した場合

設定を変更した場合は、最後に必ず 保存 をクリックしてください。

■設定の手順

❶ マウスを使って検知範囲の大きさや位置を調整します。

- エリア枠の8か所のポイントにカーソルを合わせると、カーソルが ⟷ に変わります。エリアの大きさを調整できます。
- エリア内にマウスのカーソルを合わせると、カーソルが ✥ になり、エリアを移動できます。

❷ 感度としきい値を調整します。

感度	動きの変化を検出します。スライダーを右に移動すると動きの感度が高くなります。感度を高くするほど検知範囲の中での小さな動きにも反応するようになります。スライダーを左に移動すると感度が低くなり、大きな動きがないと反応しなくなります。
しきい値	色の変化を検出します。数値を高くするほど色の変化が小さくても反応するようになります。数値を小さくすると色の変化が大きくないと反応しなくなります。0～100の間で設定できます。 初期値＝3

❸ 検知範囲を複数設定したい場合は、同じ操作を検知範囲2および検知範囲3でもおこないます。

- ［検知範囲（2または3）］をチェックし、❶～❷の操作を繰り返します。

❹ 保存 をクリックすると、設定が保存されます。

更新 ボタン	カメラの映像を最新の状態に更新します。
保存 ボタン	設定した内容を保存します。

E-mail設定

映像の変化を検知した場合に、保存した映像をメールで送信するための設定をします。

［ホーム］→［詳細設定］→［動作検知］→［動作検知設定］→［メール設定］

設定を変更した場合
設定を変更した場合は、最後に必ず［適用］をクリックしてください。

E-mail設定
フリーメール：　Gmail
受信先アドレス：
送信元アドレス：
送信元アカウント：
送信元パスワード：
［適用］［テストメールの送信］

フリーメール	送信で使用するメールを、Gmail/Yahoo!/Hotmailから選択できます。
受信先アドレス	カメラが送信したメールを受け取るメールアドレスを入力します。
送信元アドレス	カメラから送信するメールアドレスを入力します。
送信元アカウント	メールサーバにログインするためのアカウント（ユーザーID）を入力します。
送信元パスワード	メールサーバにログインするためのパスワードを入力します。
［テストメールの送信］ボタン	テストメールを送信することができます。

6 システム設定

保存設定

カメラで撮影した動画や静止画を保存する場合に、同一ネットワーク上にあるNASを使用することができます。NASを使用する場合は、この項目で必要な設定をします。
※NASへの保存は、ブラウザが開いている場合のみおこなうことができます。

［ホーム］→［詳細設定］→［システム設定］→［保存設定］

設定を変更した場合
設定を変更した場合は、最後に必ず［適用］をクリックしてください。

保存設定
保存場所(NAS)：　\\ 192.168.2.1 \
(\\IPアドレス\フォルダ名)
アクセス制限：　制限なし
ユーザ名：
パスワード：
［適用］

保存場所（NAS）	NASのIPアドレスおよび保存先フォルダを指定します。 \\ 192.168.2.1 \ NASのIPアドレス　NASのフォルダ名
アクセス制限	NASのフォルダにアクセスするのにユーザ名とパスワードが必要な場合に、「制限あり」を選択します。「制限あり」を選択した場合は、下記にユーザ名とパスワードを入力します。 初期値＝制限なし
ユーザ名	NASへのログインにユーザ名とパスワードが設定されている場合に、ユーザ名を入力します。
パスワード	NASへのログインにユーザ名とパスワードが設定されている場合に、パスワードを入力します。

保存ファイル名について
指定したフォルダ内にフォルダを作成し、ファイルを保存します。

¥¥（IP アドレス）¥ZPCamere_Record¥Logitec_camXXXXXX¥yy_mm_dd¥

MACアドレス下6桁

yy：年、mm：月、dd：日

ファイル名は、Snapshot_yyyy_mm_dd_hh_mm_ssとなります。
例えば、2012年4月5日13：21：11に撮影した場合は、フォルダ構成を含めると、
¥¥（IPアドレス）¥ZPCamera_Record¥Logitec_camXXXXXX¥Snapshot_2012_4_5_13_21_11.jpg
です。
※ファイルの保存場所にある表記の「\」と「¥」は同じ意味です。ご使用のパソコンが日本語環境の場合は「¥」をご使用ください。

カメラ設定

カメラの基本的な設定をします。

［ホーム］→［詳細設定］→［システム設定］→［カメラ設定］

設定を変更した場合
設定を変更した場合は、最後に必ず［適用］をクリックしてください。

IPカメラ名	カメラに名称を付けます。複数のネットワーク機器やカメラを使用している場合、区別するのに便利です。 半角英数字と「_（アンダーバー）」が使用できます。 初期値＝Logitec_cam_XXXXXX XXXXXXには、カメラのMACアドレス下6桁が表示されます。
パスワード	カメラの映像を閲覧するためのパスワードを設定します。 初期値＝admin
パスワード確認	もう一度、同じパスワードを入力します。
LED	カメラ本体前面にある、電源ランプ、ネットワークランプの両方のLEDランプを常時消灯します。明るくてまぶしい時やカメラが動作していることを知られたくない時などに使用できます。また、節電効果もあります。

ファームウェアの更新/リセット

カメラのファームウェアをアップデート、設定を読み込んで保存、リセットなどが可能です。

［ホーム］→［詳細設定］→［システム設定］→［ファームウェア更新/リセット］

ファームウェアアップデート

カメラのファームウェアをアップデートし、最新の状態にします。最新の状態にすると、動作が安定したり、性能が向上したりします。

有線LAN環境でのアップデートを推奨します
ファームウェアのアップデートは、カメラとパソコンを有線LANのネットワークで接続して実行することを推奨いたします。無線LANを使ってアップデートする場合、電波状態が良好でないと、電波が途切れて正常にアップデートできない可能性があります。

❶ ロジテック・ホームページから、最新のアップデートファイルをダウンロードします。ダウンロードしたアップデートファイルをデスクトップに置きます。
❷ 参照 をクリックし、デスクトップに置いたアップデートファイルを選択します。
❸ 適用 をクリックします。
❹ ファームウェアのアップデートが始まります。
・「カメラを再起動しています。お待ちください...」とメッセージが表示され、ボタン上のカウンタが50からカウントダウンを開始します。
❺ カウンタが0になり、ボタンが OK に変わったらクリックします。

ファームウェアのアップデート中は、カメラやパソコンの電源を切ったり、ネットワークケーブルを抜かないようにしてください。

バックアップ/読み込み

カメラの設定情報をファイルとして保存できます。保存したファイルは、カメラに読み込むことができます。設定情報のバックアップを取ったり、カメラが複数ある場合に、1台目に設定した内容を、他のカメラに読み込ませることで、効率のよい設定作業が可能です。

■設定情報をバックアップする
❶ 実行 をクリックします。
❷ 保存 をクリックします。
❸ 保存場所を指定し、保存 をクリックします。
❹ 閉じる をクリックします。

■バックアップした設定情報を読み込む
❶ 参照 をクリックします。
❷ 保存したバックアップファイルを選択し、開く をクリックします。
・ カメラのバックアップファイルの初期値の名称は「config.bin」です。
❸ 適用 をクリックします。
・「カメラを再起動しています。お待ちください...」とメッセージが表示され、ボタン上のカウンタが50からカウントダウンを開始します。
❹ カウンタが0になり、ボタンが OK に変わったらクリックします。

リセット

カメラをリブート（再起動）したり、工場出荷時（初期値）の状態に戻すことができます。

リセット
リブートする：　リブート
工場出荷値に戻す：　実行

■リブート（再起動）する

❶ リブート をクリックします。
・「カメラを再起動しています。お待ちください...」とメッセージが表示され、ボタン上のカウンタが50からカウントダウンを開始します。
❷ カウンタが0になり、ボタンが OK に変わったらクリックします。

■工場出荷時の状態に戻す

❶ 実行 をクリックします。
・「カメラを再起動しています。お待ちください...」とメッセージが表示され、ボタン上のカウンタが50からカウントダウンを開始します。
❷ カウンタが0になり、ボタンが OK に変わったらクリックします。

7 管理ツール

機器のステータス

カメラのファームウェアのバージョン情報やネットワークの基本情報を表示します。
カメラのネットワーク環境の確認やファームのアップデート時のバージョン確認に便利です。また、サポートへのお問い合わせの時に、この情報が必要になることがあります。

［ホーム］→［詳細設定］→［管理ツール］→［機器のステータス］

システム

ファームウェアバージョン：	v1.2
アップ時間：	1 hours 28 min 13 sec
現在の時間：	1970/01/01 01:28:12

LAN

IPアドレス：	192.168.2.90
サブネットマスク：	255.255.255.0
ゲートウェイ：	192.168.2.1
DNS1：	192.168.2.1
DNS2：	
MACアドレス：	
HTTPポート：	8000

ログ

カメラに発生したさまざまなイベントをログとして保存することができます。保存されたログを確認することで、カメラの動作状況を知ることができます。

［ホーム］→［詳細設定］→［管理ツール］→［ログ］

システムログ

更新

```
Jan  1 00:00:10 syslogd started: BusyBox v1.13.4
Jan  1 00:00:11 kernel: klogd started: BusyBox v1.13.4 (2012-01-19 16:38:24 CST)
Jan  1 00:00:11 kernel: /MPPC encryption/compression module registered
Jan  1 00:00:11 kernel: NET: Registered protocol family 24
Jan  1 00:00:11 kernel: RTL8192C/RTL8188C driver version 1.6 (2011-07-18)
Jan  1 00:00:11 kernel: =====>>INSIDE rtl8192cd_init_one <<=====
Jan  1 00:00:11 kernel: 96C - 40MHz Clock Source
Jan  1 00:00:11 kernel: vendor_deivce_id=819110ec
Jan  1 00:00:11 kernel: =====>>EXIT rtl8192cd_init_one <<=====
Jan  1 00:00:11 kernel: =====>>INSIDE rtl8192cd_init_one <<=====
Jan  1 00:00:11 kernel: =====>>EXIT rtl8192cd_init_one <<=====
Jan  1 00:00:11 kernel: =====>>INSIDE rtl8192cd_init_one <<=====
Jan  1 00:00:11 kernel: =====>>EXIT rtl8192cd_init_one <<=====
Jan  1 00:00:11 kernel: =====>>INSIDE rtl8192cd_init_one <<=====
Jan  1 00:00:11 kernel: =====>>EXIT rtl8192cd_init_one <<=====
Jan  1 00:00:11 kernel: =====>>INSIDE rtl8192cd_init_one <<=====
```


8 かんたん見守りくん　iPhone版の機能

カメラにiPhoneなどのiOSモデルからアクセスするときにインストールされたアプリ「かんたん見守りくん」に搭載された機能を説明します。

カメラ映像画面とネットワーク設定画面

カメラ映像

登録されたカメラからの映像を表示する画面です。複数のカメラがある場合、分割画面で同時に表示できます。映像をタップすると、そのカメラの映像だけが拡大表示されます。

●アイコンの機能

アイコン	名称	機能
カメラ映像	カメラ映像	すでにカメラが登録されている場合、カメラの映像が表示されます。
カメラ	カメラ	カメラを追加することができます。手動で設定する場合は、さらに手動設定のための画面が表示されます。

スナップショット

選択中のカメラの映像を静止画として保存できます。映像の下にある をタップすると、その瞬間の映像が静止画として保存されます。

ネットワーク設定画面

カメラの追加画面で、[手動でカメラを追加する]をタップすると、カメラのネットワーク設定画面が表示されます。この画面で手動によるカメラのネットワーク設定が可能です。設定が終われば、完了 をタップします。

カメラ名	カメラに任意の名称を付けることができます。
DDNS/IP	LAN上のカメラに接続する場合はローカルIPアドレスを指定します。インターネット経由でカメラに接続するために、DDNSサービスを利用する場合は、DDNSサービスのホスト名またはIPアドレスを入力します。 [DDNS]の[オン/オフ]ボタンをタップして[オン]に切り替えると、[IP]のアドレス入力欄に、「clear-net.jp」という文字が自動的に追加されます。クリアネットをご利用の場合、登録したホスト名の入力のみで済みます。
ポート番号	DDNSサービスを利用する場合に、使用するポート番号を入力します。
ユーザ名	カメラにアクセスするためのユーザ名を入力します。なお、カメラでは、ユーザ名は「admin」で固定です。
パスワード	カメラにアクセスするためのパスワードを入力します。パスワードはP85「カメラ設定」で設定したパスワードです。初期値は「admin」です。
明度/彩度/鮮鋭度	明度、彩度、鮮鋭度をそれぞれ5段階で調整できます。 初期値は、明度、彩度は「3」、鮮鋭度は「5」です。

9 かんたん見守りくん　Android版の機能

カメラにAndroid端末からアクセスするときにインストールされたアプリ「かんたん見守りくん」に搭載された機能を説明します。

カメラ映像画面

スナップショット

選択中のカメラの映像を静止画として保存できます。 をタップすると、その瞬間の映像が静止画として保存されます。ご使用のスマートフォンの画像保存場所に「かんたん見守りくん for Android」というフォルダが作成され、そこに画像が保存されます。

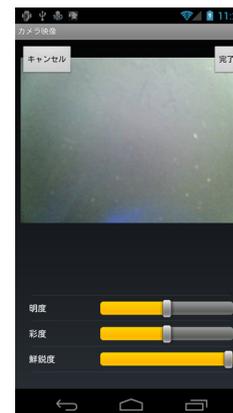
画面分割

複数のカメラを登録している場合に､画面を4分割または12分割で表示することができます。

● をタップすると4分割画面が表示されます。分割画面上にある または をタップすることで、4分割と12分割を切り替えることができます。

●分割表示を解除して、単独画面にする場合は、分割画面の中から、単独画面として表示したいカメラの映像をタップします。

カメラ映像

明度、彩度、鮮鋭度をそれぞれ5段階で調整できます。初期値は、明度、彩度は「3」、鮮鋭度は「5」です。

●スライダーをタップすることで調整できます。

●設定が終われば、画面右上の 完了 をタップします。

●設定を保存するまで、閲覧している映像の表示には変化がありません。設定を保存すると設定した内容が表示されている映像に反映されます。

パン・チルト操作

本製品はパン・チルトに対応していませんので、使用できません。

ネットワーク設定画面

〈ネットワークを追加する〉画面で 手動 をタップすると、〈ネットワーク設定〉画面が表示されます。この画面では、手動でDDNS機能の設定が可能です。
設定が終われば、完了 をタップします。

名前	カメラに任意の名称を付けることができます。
IPアドレス/DDNS	LAN上のカメラに接続する場合はローカルIPアドレスを入力します。インターネット経由でカメラに接続するために、DDNSサービスを利用する場合は、DDNSサービスのホスト名またはIPアドレスを入力します。
ポート番号	DDNSサービスを利用する場合に、使用するポート番号を入力します。
ユーザ名	カメラにアクセスするためのユーザ名を入力します。なお、カメラでは、ユーザ名は「admin」で固定です。
パスワード	カメラにアクセスするためのパスワードを入力します。パスワードはP85「カメラ設定」で設定したパスワードです。初期値は「admin」です。

10 Internet Camera Utilityのカメラ操作

静止画を撮影する

このボタンをクリックすると映像を静止画として保存します。同一ネットワーク上のNASに保存する場合は、あらかじめ保存先を設定しておく必要があります。閲覧中のパソコンに保存する場合は、保存場所を指定します。

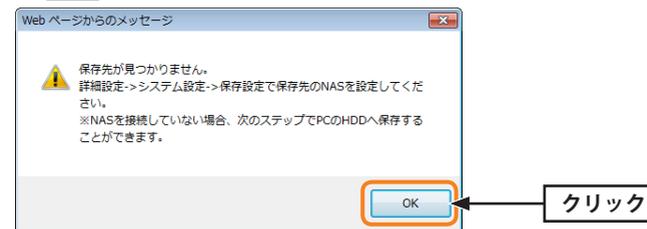
ツールバーのボタンは、Internet Explorerでのみ使用できます。他のWebブラウザには対応していません。

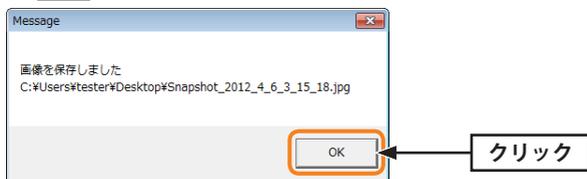
NASを使用する場合、事前に設定が必要です
[詳細設定]→[システム設定]→[保存設定]で、静止画および動画の保存場所にNASのフォルダをあらかじめ指定しておく必要があります。P83「保存設定」をお読みになり、あらかじめ保存場所を設定しておいてください。

■静止画の保存先としてNASを指定している場合

❶ をクリックします。
・ 画像はあらかじめ指定したNASのフォルダに保存されます。

■NASを使用していない場合

❶ をクリックします。
❷ OK をクリックします。

❸ 〈名前を付けて保存〉画面が表示されます。
保存先を指定し、保存 をクリックします。

❹ OK をクリックします。

・ 指定した場所に画像が保存されます。

動画を撮影する

このボタンをクリックすると映像の録画を開始します。NASに保存する場合は、あらかじめ保存先を設定しておく必要があります。閲覧中のパソコンに保存する場合は、保存場所を指定します。

NASを使用する場合、事前に設定が必要です

●NASの設定

［詳細設定］→［システム設定］→［保存設定］で、静止画および動画の保存場所にNASのフォルダをあらかじめ指定しておく必要があります。P83「保存設定」をお読みになり、あらかじめ保存場所を設定しておいてください。

●解像度の設定

［詳細設定］→［ビデオ設定］→［画面設定］で、動画の解像度を「QVGA（320×240）」に設定する必要があります。P77「画面設定」をお読みになり、あらかじめ解像度を設定しておいてください。

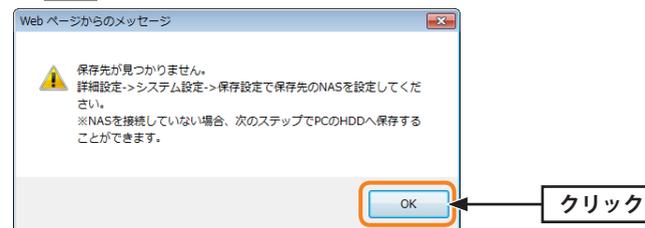
■動画の保存先としてNASを指定している場合

❶ をクリックします。

・ ボタンアイコンが に変わり、録画を開始します。

・ 動画はあらかじめ指定したNASのフォルダに保存されます。

❷ もう一度、 をクリックすると、録画を終了します。

■NASを使用していない場合

❶ をクリックします。

❷ OK をクリックします。

❸〈名前を付けて保存〉画面が表示されます。
保存先を指定し、 保存 をクリックします。

❹ OK をクリックします。

・ ボタンアイコンが に変わり、録画を開始します。

・ 動画はあらかじめ指定したNASのフォルダに保存されます。

❺ もう一度、 をクリックすると、録画を終了します。

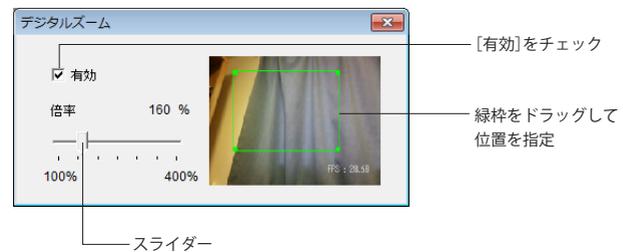
ウインドウサイズに合わせる

このボタンをクリックすると、映像が画面のサイズと合っていない場合に、画面のサイズにぴったり合うように調整されます。

フルスクリーン

このボタンをクリックすると、映像をフルスクリーンで表示します。フルスクリーン状態で画面をダブルクリックするか、キーボードの［ESC］キーを押すと、元のサイズに戻ります。

デジタルズーム

映像の一部を拡大して表示することができます。[有効]をチェックしたあと、倍率（%）と拡大したい場所を指定します。最大400%まで拡大することができます。
デジタルズームが有効になっている場合は、ツールバーの アイコンが無効時のグレーから有効時のブルーに変化します。

■操作の手順

❶ [有効]をチェックします。
・ ツールバーの アイコンの色がグレーからブルーに変わります。
❷ スライダーをドラッグして、倍率を指定します（100〜400%の範囲）。
❸ サムネイル上の緑枠をドラッグして拡大したい位置を指定します。
❹ をクリックして画面を閉じます。

Chapter 5

付録編

1 こんなときは

ご使用のパソコン環境がMacのみの場合

本製品（カメラ）に付属のユーティリティ「Internet Camera Utility」は、Windows環境にのみ対応しております。そのためMacでは導入時にカメラのIPアドレスを知ることができません。

ご使用のルータの設定ユーティリティに、ルータに接続されたネットワーク機器のIPアドレスおよびMACアドレスを表示する機能がある場合は、以下の手順でカメラのIPアドレスを「固定IP」にしてください。

①IPアドレスを一覧で表示する機能を使って、カメラのIPアドレスを確認します。

②Internet Explorerのアドレス欄に「http://（カメラのIPアドレス）/」と入力し、カメラの設定ユーティリティにアクセスします。

③[ホーム]→[詳細設定]→[基本設定]→[ネットワーク]の順に画面を開きます。

④[接続方式]を「固定IP」に変更し、固定IPアドレスを設定します。詳しくはP71「ネットワーク」をお読みください。

⑤Mac上のInternet Explorerのアドレス欄に、固定IPアドレスを入力し、カメラの設定ユーティリティにアクセスし、カメラ映像を確認します。

無線ルータ側にWPS機能がない場合

無線ルータ側にWPS機能がない場合や、WPS機能を使ってカメラと正常に接続できない場合は、カメラにパソコンから有線LANで接続し、手動で無線LAN設定を行ってください。

❶ ルータの無線LAN設定をメモします。

SSID	
チャンネル	Auto　または　　ch
認証方式	WEP　WPA-PSK　WPA2-PSK
暗号化タイプ	TKIP（WPA-PSKの場合）　AES（WPA2-PSK）
WPAプレシェアードキー（パスワード）	WPA2-PSKまたはWPA-PSKの場合
WEP設定	WEPキーフォーマット：ASCII　HEX WEPキー長：64bit　128bit キー番号：1　2　3　4 WEPキー（パスワード）：

❷ パソコンのInternet Explorerのアドレス欄に、固定IPアドレスを入力し、カメラの設定ユーティリティにアクセスします。

❸ [ホーム]→[詳細設定]→[基本設定]→[無線設定]で設定画面を表示し、メモした無線LAN機能について設定します。

ここで、リストから接続先のSSIDを選択すると、パスワード以外の設定がすべて自動で選択されます。

❹ LANケーブルからカメラを外して、無線ルータから無線LAN経由でカメラにアクセスできることを確認します。

・ パソコンのInternet Explorerのアドレス欄に、固定IPアドレスを入力し、カメラの設定ユーティリティにアクセスします。

❺ カメラ映像を確認します。

2 FAQ

■スマートフォンからルータにアクセスできない

弊社製ルータをお使いの場合は、次の手順で接続を試してください。

●iPad/iPhone 4S+4+3GS/iPod touchの場合

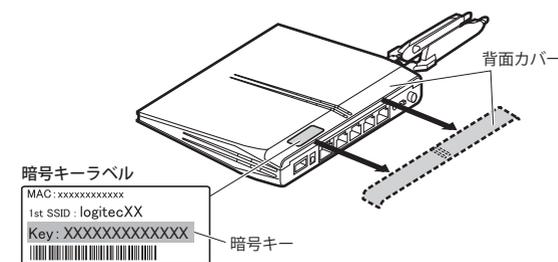
❶ メインメニューの[設定]をタップします。
❷ 設定メニューが表示されたら[Wi-Fi]をタップします。
❸ リストに表示された「LogitecXX（またはlogitecuser）」をタップします。
・「XX」は、00～99の任意の数字です。
・「Logitec2ndXX」や「Logitec11aXX」が表示された場合、これらのSSIDは使用しないでください。
❹「パスワード」に暗号キー（※）を入力し、[Join]をタップします。
　※暗号キーの確認方法は次ページへ
❺「LogitecXX（またはlogitecuser）」にチェックマークが付いたことを確認します。

●Android端末の場合

❶ メニューの[設定]をタップします。
❷ 次のいずれかをタップします。
　[無線とネットワーク]/[通信]/[ワイヤレス通信]
❸ [WiFi設定]をタップします。
❹ リストに表示された「LogitecXX（またはlogitecuser）」をタップします。
・「XX」は、00～99の任意の数字です。
・「Logitec2ndXX」や「Logitec11aXX」が表示された場合、これらのSSIDは使用しないでください。
❺「パスワード」に暗号キー（※）を入力し、[接続]または[保存]をタップします。
　※暗号キーの確認方法は次ページへ
❻ 画面上部に（Wi-Fiアイコン）が表示されていることを確認します。

●SSIDと暗号キーについて

弊社製スリムルータ（下記に記載の機種）については、付属の設定情報シール（暗号キーステッカー）をご確認いただくか、下記のように背面カバーを外して、暗号キーラベルをご確認ください。

弊社製スリムルータ
・LAN-W300Nシリーズ
・LAN-WH300Nシリーズ
・LAN-WH300ANシリーズ
・LAN-WH450Nシリーズ

• その他の弊社製ルータについては、各ルータに付属の「はじめにお読みください」をお読みになり、SSIDと暗号キーの記載場所をご確認ください。
• 他社製ルータをお使いの場合は、ルータの取扱説明書を参照してください。

3 基本仕様

カメラ仕様

映像素子	CMOS sensor　30万画素
レンズ	画角：74.8° 焦点距離：1.7mm、絞り値：2.4
解像度	SXGA（1280×960）、VGA（640×480）、QVGA（320×240）
フレームレート	30/25/20/15/10fps
ズーム	デジタルズーム1〜4倍

無線LAN部

規格	IEEE802.11g/IEEE802.11b/ARIB STD-T66
周波数帯域	2.412〜2.472GHz（中心周波数）
チャンネル	1〜13ch
伝送方式	11n：OFDM方式　11g：OFDM方式　11b：DS-SS方式
データ転送速度（理論値）	11n適用時：最大150Mbps（MIMO使用時） 11g：54/48/36/24/18/12/9/6Mbps　11b：11/5.5/2/1Mbps
アクセス方式	インフラストラクチャ（親機）
アンテナ方式	外部アンテナ1本
セキュリティ	SSID、WEP64/128ビット、WPA-PSK（TKIP）、WPA2-PSK（AES）
設定方式	WPS（ボタン搭載）

有線LAN部

規格	IEEE802.3u（100BASE-TX）、IEEE802.3（10BASE-T）、 IEEE802.3x（Flow Control）
コネクタ	RJ-45×1ポート
Auto MDI/MDIX	対応
オートネゴシエーション	対応

一般仕様

動作時環境温度	温度：0〜40℃　湿度：10〜90%（結露なきこと）
消費電力	2.1W（ACアダプタ含まず）
外形寸法	幅65mm×奥行27mm×高さ80mm
質量	80g（スタンド含まず）

●Webブラウザ版 設定ユーティリティの工場出荷時の設定値（初期値）

ログイン時のユーザー名とパスワード	ユーザー名：admin パスワード：admin

●カメラの工場出荷時の設定値（初期値）

ログイン時のユーザー名とパスワード	ユーザー名：admin（変更できません） パスワード：admin
接続方式	DHCP
ポート番号	80

30万画素ネットワークカメラ　　LAN-NCW150/S
ユーザーズマニュアル

発行 2012年4月27日　第1版